

取扱説明書

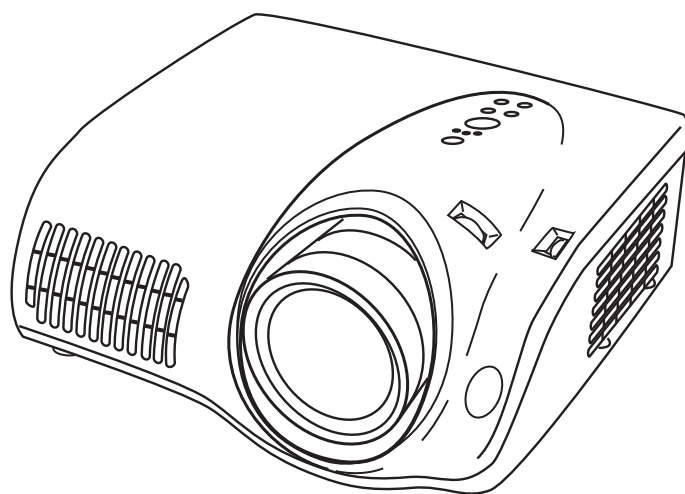
液晶プロジェクター

型名 PJ-TX200
PJ-TX200J

HITACHI
Inspire the Next



液晶
プロジェクター
「ウー」



このたびは日立液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

最初に

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保管してください。

この製品には保証書が別添付されています。内容をご確認のうえお買い上げの販売店からお受け取りください。

はじめに

準備

投写する

基本的な調整
(リモコン操作編)

お好み調整
(簡単メニュー編)

お好み調整
(詳細メニュー編)

点検と
お手入れ

故障かな、
と思ったら

保証と
アフターサービス

仕様

用語解説

索引

目次

はじめに.....	4	付属品の確認.....	13
特長	4	各部の名称	14
本書について.....	4	プロジェクター.....	14
正しくお使いいただくために.....	5	操作パネル	16
絵表示について.....	5	接続パネル	17
使用上のご注意.....	5	リモコン.....	18
準備.....	19	HDMI 信号、DVI 信号の接続例... ..	27
レンズカバーを取り付ける.....	19	パソコン (RGB) 信号の接続例 ..	28
設置する	20	RS-232C 通信を行う場合の接続 ..	28
配置する.....	20	パソコン信号例.....	29
傾きを調節する.....	22	電源に接続する	30
他の機器と接続する.....	23	リモコンを準備する.....	32
基本手順.....	23	電池を入れる	32
ビデオ信号の接続例	25	リモコン操作について.....	33
S ビデオ信号の接続例.....	25	バックライト機能を使う	
コンポーネント信号の接続例	26	(リモコンのボタンを光らせる) ..	33
SCART RGB 信号の接続例	26		
投写する.....	34		
電源を入れる.....	34		
入力信号を選ぶ	35		
画面を調整する	36		
自動調整する	36		
投写位置を調整する	37		
ズーム (表示倍率) を調節する.....	37		
フォーカス (焦点) を合わせる.....	37		
電源を切る	38		
基本的な調整 (リモコン操作編).....	39		
アスペクト (画面の縦横比) を選ぶ.....	39		
アイリス (絞り) を調節する	40		
モード (ガンマ、色温度、アイリス) を選ぶ.....	40		
ブラック (黒色の照度) を選ぶ	41		
明るさを調節する	42		
コントラストを調節する	42		
色の濃さを調節する.....	42		
保存したでデータで調整する.....	43		
お好み調整 (簡単メニュー編).....	44		
簡単メニューの基本操作	44		
簡単メニュー.....	45		
アスペクト.....	45		
モード、ブラック.....	46		
明るさ、コントラスト、色の濃さ、色あい、画質、反転表示、.....	47		
初期化、表示言語、詳細メニューへ	48		

お好み調整（詳細メニュー編）	49
詳細メニューの基本操作	49
映像メニュー	51
明るさ、コントラスト、ガンマ	51
色温度	53
色の濃さ、色あい、画質、アイリス	54
ブラック、マイメモリー	55
表示メニュー	58
アスペクト、オーバースキャン	58
垂直位置、水平位置、クロック位相、水平サイズ、オートアジャスト実行	59
入力メニュー	60
プログレッシブ、色空間	60
COMPONENT、ビデオフォーマット、HDMI	61
フレームロック、S-アスペクト、インフォメーション	62
設置メニュー	63
キーストン、静音、反転表示	63
スクリーンメニュー	64
表示言語、メニュー位置、OSDの明るさ	64
初期画面、マイスクリーン	65
マイスクリーンロック、メッセージ	66
デジタルシャッター	67
その他メニュー	68
オートオフ、ランプタイマー、フィルタータイマー	68
特別な設定（ファン速度、ゴースト、縦縞調整）	69
特別な設定（フィルター掃除通知、工場出荷設定）	70
点検とお手入れ	71
ランプを交換する	71
ランプについてのご注意	71
ランプの交換方法	72
エアフィルターを掃除／交換する	74
内部を点検、お手入れする	76
レンズのお手入れ	76
キャビネットやリモコンのお手入れ	76
故障かな、と思ったら	78
メッセージについて	78
インジケータランプについて	79
故障と間違いやすい現象について	81
保証とアフターサービス	83
仕様	85
用語解説	87
索引	89

はじめに

準備

投写する

基本的な調整
(リモコン操作編)お好み調整
(簡単メニュー編)お好み調整
(詳細メニュー編)点検と
お手入れ故障かな、
と思ったら保証と
アフターサービス

仕様

用語解説

索引

はじめに

特 長

この製品は、各種のコンピュータ信号や NTSC/PAL/SECAM 方式のビデオ信号など、広範囲の映像信号に対応し、近くからでも大きな映像を投写することができる液晶プロジェクターです。

このプロジェクターには以下のような特長があります。

Wooo ハイビジョンレンズ

13 群 16 枚のレンズ構成で高い描写性能を誇る ED レンズを 4 枚搭載しました。720p 液晶パネルの高精彩映像をスクリーン上に忠実に再現します。

デュアルアイリス機構

液晶パネルの前後にアイリスを搭載しました。映像の黒浮きを光学的に抑え、使用環境の明るさを選ぶことなく、コントラストの効いた映像をお楽しみいただけます。

1.6 倍ワイドズームレンズとレンズシフト

スペースに合わせて投写距離を調節できる光学 1.6 倍ワイドズームレンズを搭載し、投写画面を垂直方向に 2.5 画面分、水平方向に 1.5 画面分調節できる便利なレンズシフト機能を備えています。設置場所に悩むことなく、さまざまな環境で映画館のような迫力ある大画面をお楽しみいただけます。

本書について

以下をご参考に本書をご活用ください。

- ① 見出し：右ページの右端に記載されています。
- ② ：このマークの後に、ご参照いただきたい記事のページや場所を記載しています。
- ③ **お知らせ**：本機や接続する機器などに関する参考情報を記載しています。

お知らせ

- ▶ 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。
- ▶ 本書の運用結果については責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ▶ 本書の内容の一部あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。
- ▶ 本書に記載されている以下およびその他の社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
 - ・ VGA および XGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。
 - ・ VESA および SVGA は Video Electronics Standard Association の商標です。
 - ・ Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
 - ・ Mac は Apple Computer, Inc. の登録商標です。
 - ・ HDMI、HDMI ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC. の商標または登録商標です。

正しくお使いいただくために

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、予めご了承ください。

絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。



「注意」を示します。

この記号の後に続けて「気をつけなければならぬ」ことを記載しています。



「破裂注意」



「感電注意」



「高温注意」



「禁止」を示します。

この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。



「分解禁止」



「水濡れ禁止」



「ぬれ手禁止」



「強制」を示します。

この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。



「電源プラグをコンセントから抜くこと」



「アース線を必ず接続すること」

使用上のご注意



警告

異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセントから
抜くこと

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

- 煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、
- 内部に異物や液体（金属や水）が入った、
- 落とした、強い衝撃をあたえた、
- 本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある

- ▶ お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。
- ▶ 電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

警告

子供やペットに注意する



誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。
お子様やペットのいる場所でのご使用や保管には十分ご注意ください。

異物や液体を入れない



電源プラグを
コンセントから
抜くこと

火災や感電の原因となります。

万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

▶ 花瓶、コップ、化粧品、薬品などの液体の入ったものや、ぬれた雑きんなどを、本機の上や近くに置かないでください。

▶ クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃え易いものを本機の上や近くに置かないでください。

▶ 付属品、信号ケーブル、信号アダプタ以外のものを、本機と一緒に箱やケースに入れないでください。

分解しない、改造しない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。

▶ 本機や付属品のキャビネットやケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。

▶ 本機や付属品を加工しないでください。

▶ 内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

▶ ランプ、ランプカバー、エアーフィルター、フィルターカバーなどの部品を外した状態で使用しないでください。

衝撃をあたえない



電源プラグを
コンセントから
抜くこと

ぶつけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。

万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

▶ 移動するときは電源コードや信号ケーブルの接続を外し、レンズカバーを閉じてください。

▶ 修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用ください。

不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない



落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

▶ ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。

▶ キャスター(車)付きの台に載せる場合は必ずキャスター(車)止めをしてください。

▶ アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。(P22 ページ)

▶ 前面、側面、背面を下にして置かないでください。

▶ 天吊りなどの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。

警告

高温に注意する



高温注意

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になり、やけどや火災の原因となります。

- ▶ 使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。
- ▶ 排気口の近くにリモコンなどの物を置かないでください。
- ▶ 金属の台など、熱の伝わりやすいものや燃えやすいもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。
- ▶ 使用後に本機を移動する場合は、本機を十分冷ましてから行ってください。

ぬらさない



水ぬれ禁止

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。
水を掛けたり、水や雨の掛かる場所に置いたりしないでください。

- ▶ 風呂場やシャワー室、台所などに置かないでください。
- ▶ 海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
- ▶ 水槽や植木鉢の近くに置かないでください。

レンズをのぞかない



本機の使用時は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

指定の電源電圧で使用する



指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。
必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。

電源コードや信号ケーブルは同梱品または所定のものを使用する



仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。

本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。

電源コードや信号ケーブルを傷つけない



損傷のある電源コードや電源プラグアダプタ、信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。

傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

- ▶ 本機など、重い物を載せないでください。
- ▶ ヒータや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。
- ▶ コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。
- ▶ 投げたり、ひきずったりしないでください。
- ▶ 加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

ぬれた手で電源を接続したり外したりしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

ぬれた手で電源コードや電源プラグアダプタを取り扱わないでください。

警告

電源プラグは付着物をふき取ってから使用する



本機の電源端子や電源コード、電源プラグアダプタのプラグ (刃) 部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。必ず接続の前に、取り除いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



電源の接続が不完全だと、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。電源コードや電源プラグアダプタを接続するときは、根元まで確実に差し込んでください。

▶ ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。

アース線を必ず接地する



アース線を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。本書の「電源に接続する」(□30 ページ) に従って、正しく接続してください。

- ▶ 2つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。
- ▶ アース線を接続するときは、電源プラグアダプタをコンセントに差し込む前に、アース線をアース端子に接続してください。
- ▶ アース線を外すときは、先に電源プラグアダプタをコンセントから抜いてから外してください。
- ▶ 電源コードや電源プラグアダプタは本機に付属のものをご使用ください。付属品が損傷した場合は販売店にご相談ください。

アース線をコンセントに差し込まない



アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。アース線はアース端子以外には接続しないでください。

お手入れするときは電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセントから
抜くこと

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。必ず本書の「点検とお手入れ」(□71 ページ) をお読みになり、正しくお手入れしてください。

ランプの取扱いに注意する



破裂注意



高温注意

本機は、寿命のあるガラス製の高圧水銀ランプを使用しています。ランプの取扱いを誤ると、やけどの原因となったり、破裂してけがなどの原因となります。

万一、破裂した場合（破裂音がします）は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。通風口などから出るガスを吸い込んだり、目や口に入らないように十分換気し、販売店にご連絡ください。内部にガラス片が散乱しているおそれがありますので、ランプカバーを開けないでください。

必ず本書の「ランプを交換する」(□71 ～ 73 ページ) をお読みになり、指定のランプを正しくご使用ください。

▶ 使用中や使用後、ランプとその周辺は高温となり、火傷の原因となります。ランプの交換は、電源を切ってプラグを抜き、45 分以上放置して冷ましてから行ってください。

▶ ランプに衝撃をあたえたり、傷つけたりしないように、丁寧に取扱いってください。

▶ 廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

警告

電池の取扱いに注意する



破裂注意

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

- ▶ 充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。
- ▶ リモコンの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。
- ▶ 交換するときは、指定（ 32 ページ）のタイプの新しい（未使用の）電池を使用してください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。
- ▶ 火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
- ▶ 電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製のもので持たないでください。
- ▶ 子供やペットが届かないところに保管してください。
- ▶ 衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 傷のある電池は使用しないでください。
- ▶ 長時間使用しない場合は、リモコンから取り出して保管してください。
- ▶ 廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

注意

重い物を載せたりぶら下げたりしない



不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

- ▶ 本機の上に乗ったり、重い物を載せたりしないでください。
- ▶ 本書に指定のある場合や所定の別売品（販売店にお尋ねください）以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や油煙、湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。湿気やほこりの多いところには置かないでください。

- ▶ 海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
- ▶ 調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気の多いところに置かないでください。
- ▶ 喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。

⚠ 注意

高温になるところに置かない



内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。温度が高くなるところには置かないでください。

- ▶ 直射日光の当たるところ、ヒータやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。
- ▶ 本機や付属品を電子レンジに入れないでください。

通風口をふさがない



通風が正常に行われないと内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

- ▶ 風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
- ▶ 通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
- ▶ 布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。
- ▶ 布や紙などの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。

エアフィルターを定期的にお手入れする



エアフィルターがほこりなどで詰まったり正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。

- ▶ 必ず本書の「エアフィルターを掃除 / 交換する」(74 ページ)をお読みになり、指定のエアフィルターを正しくご使用ください。
- ▶ エアフィルターは定期的にお手入れしてください。
- ▶ エアフィルターやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。

磁気を発生するものを近づけない



本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

- ▶ 付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

使用しないときは電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセントから
抜くこと

長時間ご使用にならない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。

年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。

年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。

- ▶ お客様による内部のお手入れは危険ですので絶対におやめください。
- ▶ 内部のお手入れは、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

お守りください

リモコンに衝撃をあたえないでください

破損や故障の原因となることがあります。

- ▶ リモコンを投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

リモコンをぬらさないでください

故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。

- ▶ 水を掛けたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください

リモコン送信の障害となって、リモコンが利かないことがあります。

レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

- ▶ 使用しないときはレンズカバーを閉じてください。
- ▶ レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。お手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラや眼鏡の清掃用）をご使用ください。
- ▶ 取付けレンズなどは、所定のもの（販売店にお尋ねください）以外取り付けしないでください。

レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください

リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に動かないことがあります。

電波を発生するものを避けてください

本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となることがあります。携帯電話やトランシーバなどは本機から離れてご使用ください。

電源は正しい手順で切ってください

正しい手順をふまずに電源スイッチを切ったり電源プラグを抜いたりすると、冷却が正常に行われず、本機の寿命を縮めたり、投写ランプがつきにくくなることがあります。非常時を除き、電源は決められた手順（**38** ページ）で切ってください。

- ▶ 停電やリスタートスイッチの使用などによって、正しい手順をふまずに電源を切った（切れた）場合は、電源スイッチの「○」側を押し、10分以上放置して冷ましてください。

電源を入れるときは他の機器より先に、切るときは他の機器より後に行ってください

接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

キャビネットやリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。お手入れは正しい方法（**76** ページ）で行ってください。

- ▶ ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
- ▶ ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。
- ▶ スプレーは使用しないでください。ガスや霧が本機の内部に入ると、故障などの原因となることがあります。
- ▶ 化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。ときどき画面から離れて目を休めてください。

梱包材は大切に保管してください

修理や引越などの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

お知らせ

寿命部品について

光学部品（ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS（Polarized Beam Splitter）、コントラストアップフィルム）および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になります。

▶ 本機は長時間連続使用を想定して設計されたものではありません。毎日6時間以上ご使用になる場合は、1年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。また6時間以上連続してご使用になったり、短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品の交換サイクルは早くなります。

▶ 本機を傾けて使用すると、部品の寿命を縮めることがあります。アジャスタ脚の調節範囲以外は傾けて使用しないでください。

▶ 電源を頻繁に入れたり切ったりすると、部品の寿命を縮めることがあります。

映像特性について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。投写面（スクリーンや壁面など）の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやパソコンのモニタとは異なる場合がありますが、故障ではありません。

偏光スクリーンでは画面が赤味を帯びて見える場合があります。ご使用にならないでください。

液晶パネルの焼きつきについて

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルの仕様（85ページ）と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

輝点、黒点について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点（光ったままの点）や黒点（光らない点）が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズやミラーに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。

本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転速度を制御する機能を備えています。周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、騒音も大きくなります。

ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効（LCDとCRTの同時表示またはCRTの設定）にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。

音声機能について

本機は音声機能を内蔵しておりませんが、別売のシステムなどをご利用になると、音声をお楽しみ頂くことができます。詳しくは販売店にお尋ねください。

▶ 音量は、周囲に十分配慮して、適度な音量でお楽しみください。特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたり音量を下げたりして、生活環境を守りましょう。

この製品（付属品を含む）は日本国内でのみ、ご使用になれます。

日本国外ではご使用にならないでください。また、この製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。

This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

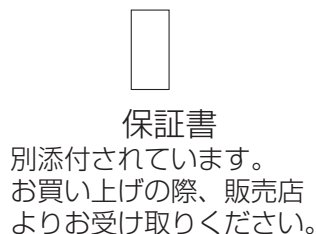
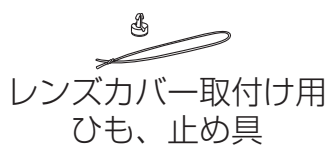
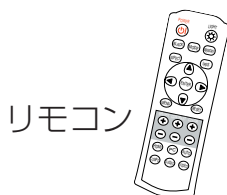
電源高調波について

JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第3-2部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1相当りの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

付属品の確認

初めに付属品をご確認ください。この製品にはプロジェクター本体の他に、以下のものが含まれています。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。



⚠ 警告

不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない
落ちたり倒れたりすると、けが、破損、故障、火災、感電の原因となります。

▶ ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所には置かないでください。

▶ 前面、側面、背面を下にして置かないでください。

電源コードや信号ケーブルを傷つけない

損傷のある電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルを使用すると、火災や感電の原因となります。

▶ 本機など、重い物を載せないでください。

電池の取扱いに注意する

誤って飲み込むと危険です。お子様やペットが届かないところに置いてください。

お守りください

梱包材は大切に保管してください
修理や引越などの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。

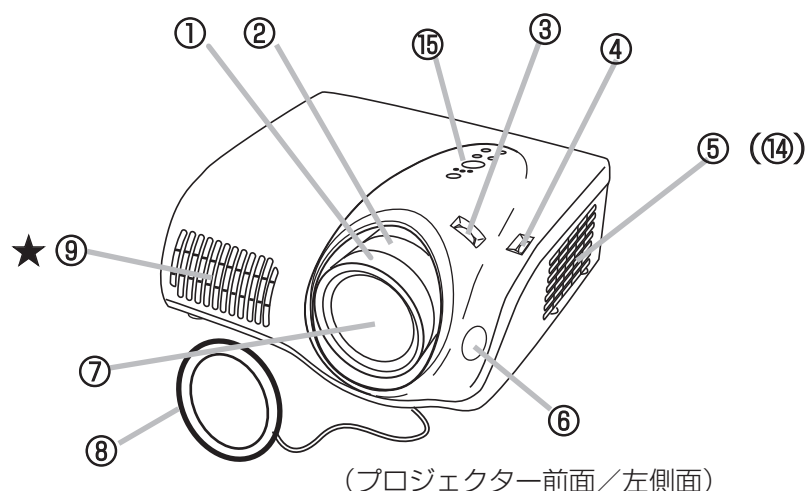
特にレンズ周りの梱包には、必ずレンズクッションをご使用ください。



レンズクッション

各部の名称

プロジェクター



(プロジェクター前面／左側面)

① フォーカスリング

フォーカス（焦点）を合わせます。
(☞37 ページ)

② ズームリング

ズーム（拡大倍率）を調節します。
(☞37 ページ)

③ 水平レンズシフトダイヤル

④ 垂直レンズシフトダイヤル

画面位置（レンズ位置）を水平／垂直に調節します。(☞37 ページ)

⑤ フィルターカバー

通風口（吸気口）にエアフィルターとフィルターカバーがついています。
(☞74 ページ)

⑥ リモコン受光部

リモコン信号を受信します。(☞33 ページ)

⑦ レンズ

⑧ レンズカバー

レンズから映像が投写されます。
(☞19 ページ)

警告

衝撃をあたえない

落ちたり倒れたりすると、けがや破損、故障、火災や感電の原因となります。

▶ **アジャスタボタン (⑩) やアジャスタ脚 (⑪)** はプロジェクターが落ちないように支えながら操作してください。

高温に注意する (★)

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になり、やけどや火災の原因となります。

▶ 使用中や使用後しばらく、**排気口 (⑨)** に近づいたり、**レンズ (⑦)** や**ランプカバー (⑬)** に触れたりしないでください。

レンズをのぞかない

レンズ (⑦) から強い光が出て視覚障害などの原因となります。

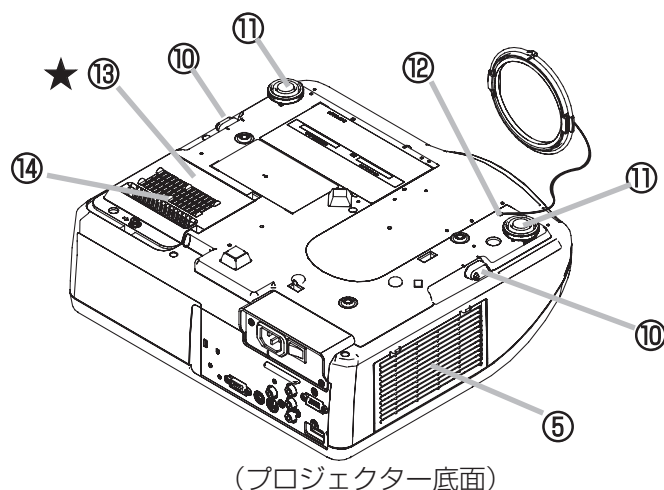
絶対にのぞかないでください。

ランプの取扱いに注意する

ランプは寿命のあるガラス製の高圧水銀ランプで、破裂するとけがなどの原因となります。

▶ 破裂した場合は、**ランプカバー (⑬)** を開けずに販売店にご連絡ください。

▶ ランプは寿命部品ですので、交換が必要となります。



⑨ 通風口（排気口）
内部の熱い空気をここから排出します。

⑩ アジャスタボタン

⑪ アジャスタ脚

プロジェクターの左右に1組ずつあります。
アジャスタボタンを押すと、同じ側のアジャスタ脚の固定が外れて長さを調節できます。
(☞22 ページ)

⑫ レンズカバー取付け穴

レンズカバーの取付けに使用します。
(☞19 ページ)

⑬ ランプカバー

内側にランプがあります。(☞72 ページ)

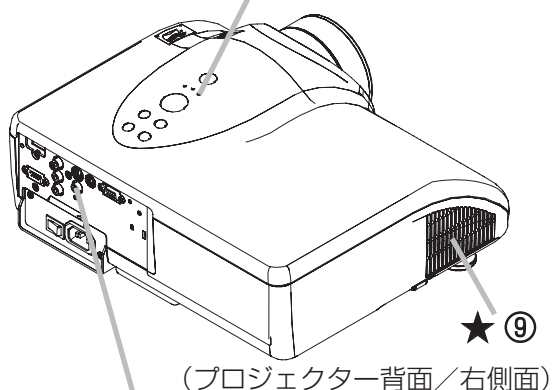
⑭ 通風口（吸気口）

本機の冷却に必要な吸気用の通風口です。

⑮ 操作パネル

操作ボタンやインジケータがあります。

詳細は ☞16 をご覧ください。



⑯ 接続パネル

信号ケーブルなどを接続する端子があります。

詳細は ☞17 をご覧ください。

⚠ 注意

通風口をふさがない

通風が正常に行われず内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

▶ 通風口（⑤，⑭）をふさいだり近くに物を置いたりしないでください。

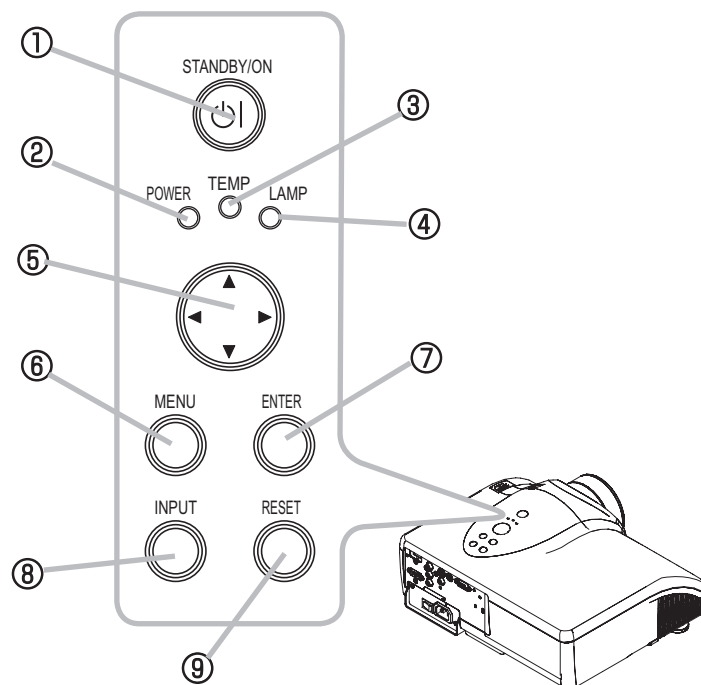
▶ 布や紙などの吸い付く物を、吸気口（⑭）の近くに置かないでください。

エアフィルターを定期的にお手入れする

ほこりなどで詰って内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

▶ エアフィルターは定期的にお手入れしてください。

操作パネル



① STANDBY/ON ボタン

電源を入れるとき、切るときに使用します。
(☞34, 38 ページ)

② POWER インジケータ

電源の状態を表示します。(☞34, 38, 79 ページ) 電源が入っているとき、通常は緑色に点灯しています。

③ TEMP インジケータ

主に内部温度についての異常を、赤色の点灯や点滅でお知らせします。(☞79 ページ)

④ LAMP インジケータ

主にランプについての異常を、赤色の点灯や点滅でお知らせします。(☞79 ページ)

⑤ カーソルボタン (▲/▼/◀/▶)

調節するときやメニューの操作に使用します。

⑥ MENU ボタン

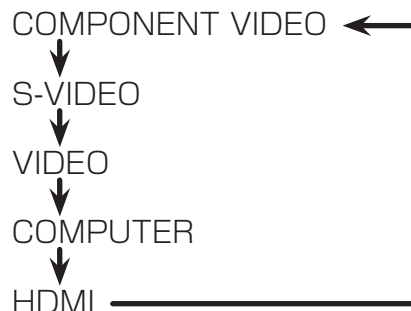
メニューを表示するときや消すときに使用します。

⑦ ENTER ボタン

メニュー操作で、次の操作に進むときに使用します。

⑧ INPUT ボタン

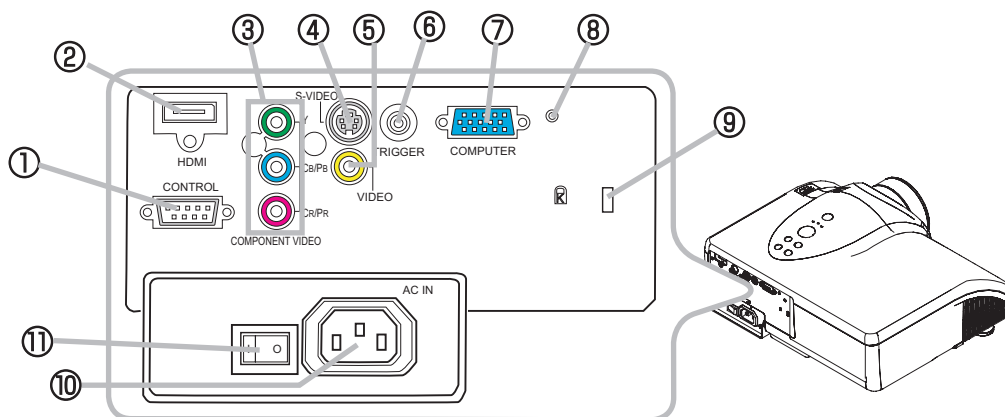
入力信号（有効端子）を順次切り替えます。
(☞35 ページ)



⑨ RESET ボタン

調節を取り消すときなどに使用します。

接続パネル



① CONTROL 端子

RS-232C 通信用の接続端子です。RS-232C ケーブルでパソコンと接続します。
(☞28 ページ)

② HDMI 端子

DVD などからの HDMI 信号を入力します。
(☞27 ページ)

③ COMPONENT VIDEO 端子

Y、C_B/P_B、C_R/P_R の3つで1組の入力端子です。ビデオや DVD からのコンポーネントビデオ信号を入力します。(☞26 ページ)

④ S-VIDEO 端子

ビデオや DVD からの S ビデオ信号を入力します。(☞25 ページ)

⑤ VIDEO 端子

ビデオや DVD からのビデオ信号を入力します。(☞25 ページ)

⑥ TRIGGER 端子

12V/25mA の出力端子です。電源を入れると DC12V を出力します。

⑦ COMPUTER 端子

パソコンからの RGB 信号を入力します。
(☞28 ページ)

⑧ リスタート・スイッチ

内蔵マイコンの誤動作などで、正常な手順で電源を切ることができない場合にだけ、このスイッチをご使用ください。このスイッチを押すと、本機の電源が切れます。(☞38 ページ)

⑨ 盗難防止用ロック取付け穴

市販の盗難防止用ケーブルなどの取付けにご利用ください。

⑩ 電源端子

電源コードのコネクタ側を接続します。
(☞30 ページ)

⑪ 電源スイッチ

電源スイッチです。電源を入れるときは「|」側を、切るときは「○」側を押します。(☞34, 38 ページ)

⚠ 注意

TRIGGER 端子の取扱いに注意する
TRIGGER 端子 (⑥) は 12V/25mA の出力端子です。誤った取扱いは感電や火災、故障の原因となることがあります。
▶ 針金などの異物を差し込んだり、加工したりしないでください。

お守りください

リスタート・スイッチを押した後は電源スイッチを切ってください

リスタート・スイッチ (⑧) を使って電源を切った場合は、必ず電源スイッチも切ってください。「|」側を押すもう一度電源を入れるときは、10 分以上放置して冷ました後に行ってください。

HDMI 信号の接続には HDMI ロゴ付きの接続ケーブルをご使用ください

HDMI 信号の入力には、必ず HDMI ロゴが表示されている HDMI ケーブルをご使用ください。接続ケーブルや接続する機器によっては画像が表示されない場合があります。

リモコン

① POWER ボタン

電源を入れるとき、切るときに使用します。
(☞34, 38 ページ)

② LIGHT ボタン

リモコンのボタンを約 10 秒間点灯します。
(☞33 ページ)

③ BLACK ボタン

ブラック (アクティブ・アイリスの制御モード) を順次切り替えます。黒色の調整にご使用ください。
(☞41 ページ)

④ MODE ボタン

モード (ガンマ、色温度、アイリスの設定の組合せモード) を順次切り替えます。映像に合わせた調整にご使用ください。
(☞40 ページ)

⑤ MEMORY ボタン

調整データの登録や呼び出しに使用します。
(☞43 ページ)

⑥ ASPECT ボタン

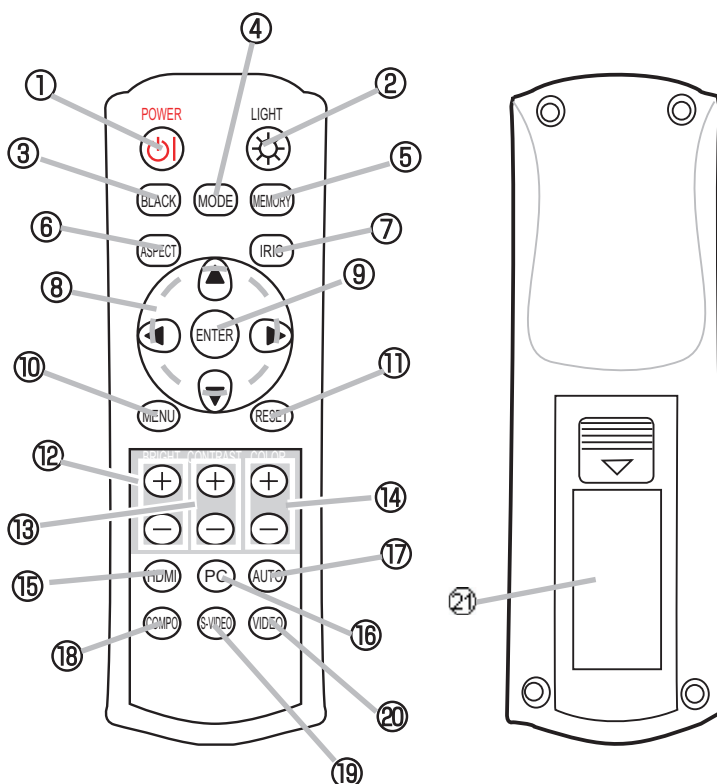
アスペクト (画面の縦横比) を切り替えます。
(☞39 ページ)

⑦ IRIS ボタン

アイリス (絞り) の調節を開始するとき、終了するとき使用します。調節はカーソルボタン▲、▼で行います。(☞40 ページ)

⑧ カーソルボタン

(▲/▼/◀/▶)
調節するときやメニューの操作に使用します。



⑨ ENTER ボタン

メニュー操作で、次の操作に進むときに使用します。

⑩ MENU ボタン

メニューを表示するときや消すときに使用します。

⑪ RESET ボタン

調節中の内容を取り消したいときなどに使用します。

⑫ BRIGHT ボタン

明るさを調節します。
(☞42 ページ)

⑬ CONTRAST ボタン

コントラストを調節します。
(☞42 ページ)

⑭ COLOR ボタン

色の濃さを調節します。
(☞42 ページ)

⑮ HDMI ボタン

HDMI 端子からの入力信号を選択します。(☞35 ページ)

⑯ PC ボタン

COMPUTER 端子からの入力信号を選択します。
(☞35 ページ)

⑰ AUTO ボタン

自動調整機能を実行します。
(☞36 ページ)

⑱ COMPO ボタン

COMPONENT VIDEO 端子からの入力信号を選択します。
(☞35 ページ)

⑲ S-VIDEO ボタン

S-VIDEO 端子からの入力信号を選択します。
(☞35 ページ)

⑳ VIDEO ボタン

VIDEO 端子からの入力信号を選択します。(☞35 ページ)

㉑ 電池カバー

電池はこの内側に入れます。
(☞32 ページ)

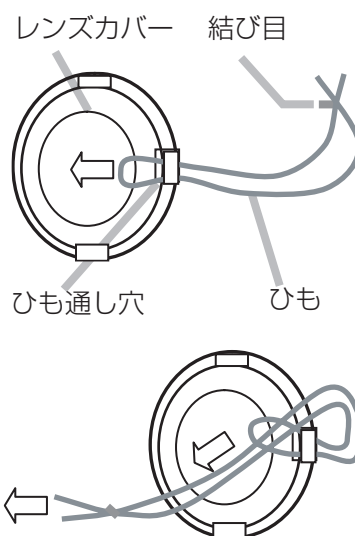
準備

レンズカバーを取り付ける

紛失防止のため、レンズカバーは本体にひもで取り付けてご使用ください。

1. ひもをレンズカバーに取り付ける

- (1) ひもの結び目が無い方の端を、レンズカバーのひも通し穴に、2～3cmほど通してください。
- (2) 通したひもの先を広げて輪にし、ひもの結び目のある方の端を輪にくぐらせて引き出してください。

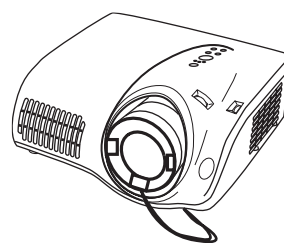
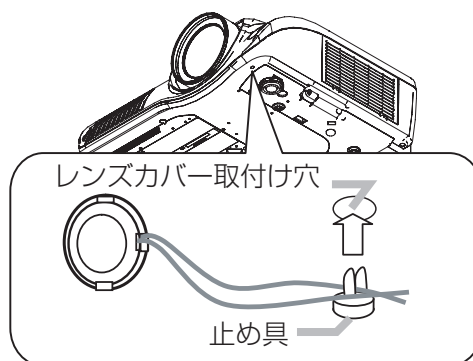


2. ひもを止め具に挟む

- ひもの結び目のある方の端を少し開いて、1本を止め具の先の割れた部分に挟み込んでください。

3. プロジェクターに取り付ける

- プロジェクター底面のレンズカバー取付け穴に、ひもを挟んだ止め具の先を差し込んでください。止め具が固定されるまで、きちんと押し込んでください。



準備

レンズカバーを取り付ける

警告

高温に注意する

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になり、やけどや火災の原因となります。

▶ 使用中や使用後しばらく（高温の間）は、レンズカバーの取付け作業を行わないでください。

お守りください

レンズを傷つけないでください
破損や故障の原因となったり、画質に悪い影響を及ぼすことがあります。

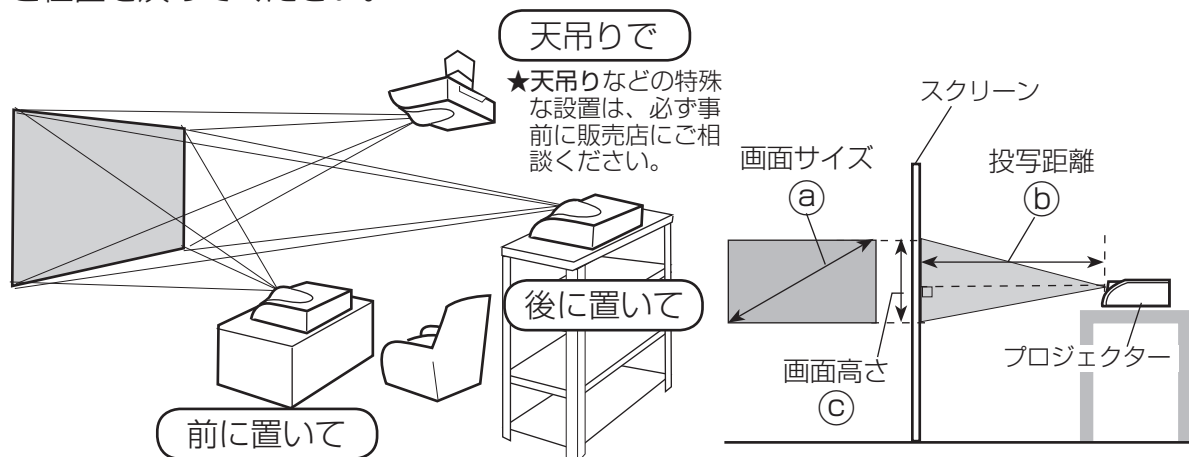
▶ 使用しないときはレンズカバーを閉じてください。

設置する

本機は、湿気やほこり、直射日光を避け、水平で安定した通風の良い涼しい場所に設置してください。また、安全には十分ご注意ください。

配置する

設置したい部屋の広さやご覧になる位置など、ご使用環境に合わせて、設置の方法と位置を決めてください。



プロジェクターとスクリーンの距離については、下表をご参照ください。
 下表の数値はフルスクリーン（1280 × 720）の場合の参考値（± 10%）です。
 ① 画面サイズ（投写画面の対角寸法）
 ② 投写距離（レンズ面とスクリーンの距離）
 ③ 画面高さ（投写画面の縦寸法）

① 画面サイズ		16:9 画面のとき						4:3 画面のとき					
		② 投写距離				③ 画面高さ		② 投写距離				③ 画面高さ	
		最小		最大				最小		最大			
型	(m)	m	(インチ)	m	(インチ)	cm	(インチ)	m	(インチ)	m	(インチ)	cm	(インチ)
30	(0.8)	0.8	(32)	1.3	(52)	37	(15)	1.0	(39)	1.6	(65)	46	(18)
40	(1.0)	1.1	(43)	1.8	(70)	50	(20)	1.4	(53)	2.2	(87)	61	(24)
50	(1.3)	1.4	(54)	2.3	(89)	62	(25)	1.7	(67)	2.8	(109)	76	(30)
60	(1.5)	1.7	(66)	2.7	(107)	75	(29)	2.1	(81)	3.3	(131)	91	(36)
70	(1.8)	2.0	(77)	3.2	(125)	87	(34)	2.4	(95)	3.9	(153)	107	(42)
80	(2.0)	2.2	(89)	3.6	(143)	100	(39)	2.8	(109)	4.5	(175)	122	(48)
90	(2.3)	2.5	(100)	4.1	(161)	112	(44)	3.1	(122)	5.0	(198)	137	(54)
100	(2.5)	2.8	(111)	4.6	(179)	125	(49)	3.5	(136)	5.6	(220)	152	(60)
120	(3.0)	3.4	(134)	5.5	(215)	149	(59)	4.2	(164)	6.7	(264)	183	(72)
150	(3.8)	4.3	(168)	6.9	(270)	187	(74)	5.2	(206)	8.4	(330)	229	(90)
200	(5.1)	5.7	(224)	9.2	(360)	249	(98)	7.0	(275)	11.2	(441)	305	(120)
250	(6.4)	7.1	(281)	11.5	(451)	311	(122)	8.7	(344)	14.0	(552)	381	(150)
300	(7.6)	8.6	(337)	13.8	(541)	374	(147)	10.5	(413)	16.8	(663)	457	(180)

設置についてのご注意

⚠ 警告

分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。

▶ 本機や付属品を加工しないでください。

不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

▶ ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。

▶ キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。

▶ アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。

▶ 前面、側面、背面を下にして置かないでください。

▶ 天吊り（★）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。

ぬらさない

火災や感電の原因となります。水や雨の掛かる場所に置いたりしないでください。

▶ 風呂場やシャワー室、台所などに置かないでください。

▶ 海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。

▶ 水槽や植木鉢の近くに置かないでください。

お守りください

光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください

リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります

電波を発生するものを避けてください

本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となります。携帯電話やトランシーバなどは本機から離れてご使用ください。

⚠ 注意

湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や油煙、湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない

火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。湿気やほこりの多いところには置かないでください。

▶ 海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。

▶ 調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気の多いところに置かないでください。

▶ 喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。

高温になるところに置かない

内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。温度が高くなるところには置かないでください。

▶ 直射日光の当たるところ、ヒータやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。

▶ 本機や付属品を電子レンジに入れないでください。

通風口をふさがない

通風が正常に行われず内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

▶ 風通しの良いところに、周辺の壁や物から30cm以上離して設置してください。

▶ 通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。

▶ 布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。

▶ 布や紙などの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。

磁気を発生するものを近づけない

冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じたりして内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

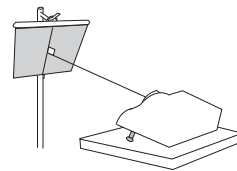
▶ 付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

準備

設置する

傾きを調節する

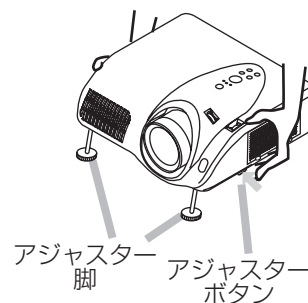
スクリーンなどの投写面に傾きがあるときは、アジャスタ脚をご使用になり、できるだけレンズ面と投写面を平行にしてください。



1. プロジェクターを支えながらアジャスタボタンを押す

- 本機の後部を設置面につけたまま、本機を両手で支え持って、左右にあるアジャスタボタンを押してください。

アジャスタボタンを押している間、アジャスタ脚の固定がはずれて長さが調節できます。



2. 傾きを調節し、アジャスタボタンを放す

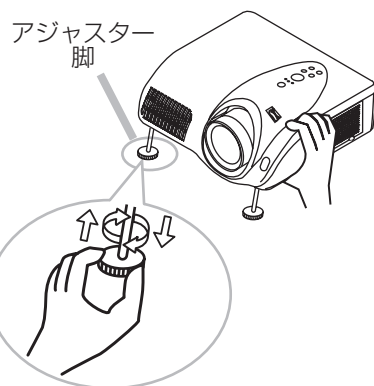
- 本機を支え持ち、アジャスタボタンを押しながら、本機のレンズ面が投写面と平行になるように、本機の傾きを調節してください。

アジャスタ脚での調節範囲は、前上がり 7° 以内です。この範囲を超えた傾きは、故障や寿命部品の寿命を縮める原因となることがあります。



傾きが決まったら、その状態でアジャスタボタンを放します。

アジャスタ脚が固定されたのを確認し、本機を静かに放してください。



3. アジャスタ脚を回して微調節する

- アジャスタ脚をまわすと、脚の長さを微調節できます。一方の手で本機を支え、もう一方の手で回してください。

⚠ 警告

衝撃をあたえない

ぶつけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

▶ アジャスタボタンやアジャスタ脚は、プロジェクターが落ちないようにきちんと支えながら操作してください。

不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

落ちたり倒れたりすると、けがや破損、故障、火災や感電の原因となります。また、限度を超えて傾けた設置は、故障や寿命部品の寿命を縮める原因となることがあります。

▶ アジャスタ脚による調節（前上がり 7°）以外は、傾けて置かないでください。左右は水平に置いてください。

高温に注意する

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気は高温になり、やけどや火災の原因となります。

▶ 使用中や使用後しばらくの間は、アジャスタボタンやアジャスタ脚を操作しないでください。

他の機器と接続する

本機はビデオデッキやパソコンなど、いろいろな機器に接続してお使いになれます。ご使用になる信号の接続例（23～29 ページ）をご参照ください。

準備

他の機器と接続する

基本手順

1 仕様を確認する

- 接続したい機器の説明書をよくお読みになり、出力信号などが本機の仕様に合うことを確認してください。

2 信号ケーブルを準備する

- 接続する機器と本機の端子をご確認のうえ、必要な信号ケーブルやアダプタをご用意ください。

コンポーネント信号ケーブルは付属のものをご使用ください。その他の信号ケーブルやアダプタについては販売店にお尋ねください。

3 接続する機器とプロジェクターの電源を切る（切れていることを確認する）

- 接続する機器と本機の両方の電源を切り、電源コードを抜いてください。

4 信号ケーブルを接続する

- 信号ケーブルの一方を接続する機器の端子に、もう一方を本機の端子に接続してください。接続の際は、信号ケーブルのコネクタと、接続する端子の形状や向きを確認しながら正しく接続してください。

ビデオカメラと接続する

ビデオ信号を使う

⇒ 25 ページ

S ビデオ信号を使う

⇒ 25 ページ

パソコンと接続する

RGB 信号を使う

⇒ 28 ページ

RS-232C 通信を行う

⇒ 28 ページ

DVD やビデオデッキと接続する

ビデオ信号を使う ⇒ 25 ページ

S ビデオ信号を使う ⇒ 25 ページ

コンポーネントビデオ信号を使う

⇒ 26 ページ

HDMI 信号を使う ⇒ 27 ページ

DVI 信号を使う ⇒ 27 ページ

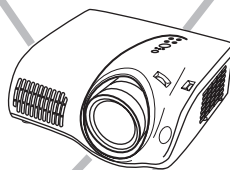
ゲーム機と接続する

ビデオ信号を使う

⇒ 25 ページ

S ビデオ信号を使う

⇒ 25 ページ



接続についてのご注意

⚠ 警告

分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。

▶ 本機や付属品を加工しないでください。

信号ケーブルは同梱品または所定のものを使用する

仕様の合わない信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。コンポーネント信号ケーブルは同梱のものをご使用ください。その他の信号ケーブルやアダプタについては、販売店にお尋ねください。

信号ケーブルを傷つけない

損傷のある信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

- ▶ 本機など、重い物を載せないでください。
- ▶ ヒータや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。
- ▶ ケーブル部分を持って引っ張らないでください。
- ▶ 投げたり、ひきずったりしないでください。
- ▶ 加工したり、無理に曲げたり、過熱したりしないでください。

⚠ 注意

接続するときは電源プラグを抜く

電源プラグを接続したまま、接続作業を行うと、故障の原因となることがあります。接続作業は、電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

TRIGGER 端子の取扱いに注意する

TRIGGER 端子は 12V/25mA の出力端子です。誤った取扱いは感電や火災、故障の原因となることがあります。

▶ 針金などの異物を差し込んだり、加工したりしないでください。

お守りください

接続する前に、仕様を確認してください

仕様の合わない機器を接続して使用すると、故障の原因となることがあります。接続の前に必ず説明書をお読みになり、仕様が本機に合うことを確認してください。

▶ パソコンに接続するときは、信号レベル、信号タイミング、解像度などの仕様をご確認ください。

本機の端子とコネクタの形状や向きが合うことを確認しながら接続してください

形状の合わないコネクタや誤った向きで無理に接続しようすると、故障の原因となることがあります。コネクタは形状や向きを確かめながら接続してください。

コネクタの固定ネジを締めてください

D サブコネクタなど固定ネジのあるコネクタは、ネジを締めてきちんと接続してください。

HDMI 信号の接続には HDMI ロゴ付きの HDMI ケーブルをご使用ください

HDMI 信号の入力には、必ず HDMI ロゴが表示されている HDMI ケーブルをご使用ください。接続ケーブルや接続する機器によっては画像が表示されない場合があります。

お知らせ

▶ 入力信号によってはオートアジャストなどの機能が正しく機能しない場合があります。

▶ 入力信号によっては、フルサイズで表示できない場合があります。

▶ プラグ & プレイについて

プラグ & プレイは、パソコンと表示装置などの周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。

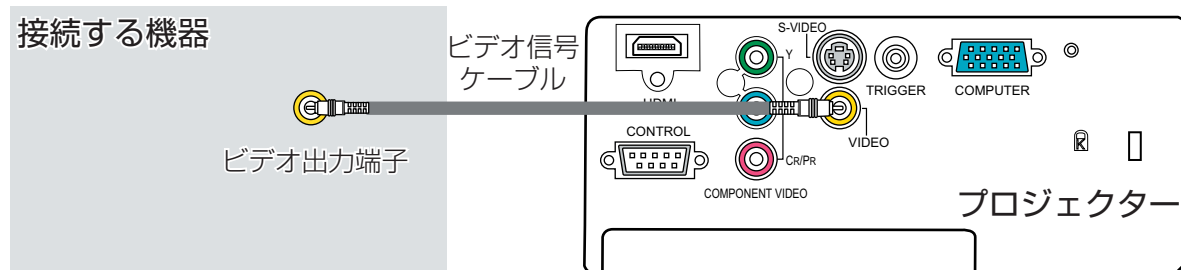
本機は VESA DDC 2B に対応しています。本機を VESA DDC (Display Data Channel) 対応のパソコンに接続してご使用になるとプラグ & プレイを実現できます。

- ・ 本機の COMPUTER 端子とパソコンを RGB ケーブルで接続してご使用ください。
- ・ 本機は「プラグ & プレイ・モニタ」として認識されます。このとき、ディスプレイドライバは標準のものをご使用ください。
- ・ 接続するパソコンによっては、プラグ & プレイが動作しない場合があります。

ビデオ信号の接続例

下図はビデオ信号の出力端子のある機器から本機へ映像信号を入力する例です。

接続する機器の端子 (端子表示例)	信号ケーブル	プロジェクター の端子表示
ビデオ信号出力 (映像出力、VIDEO OUT)	ビデオ信号ケーブル RCA 端子 (オス) ⇔ RCA 端子 (オス)	VIDEO



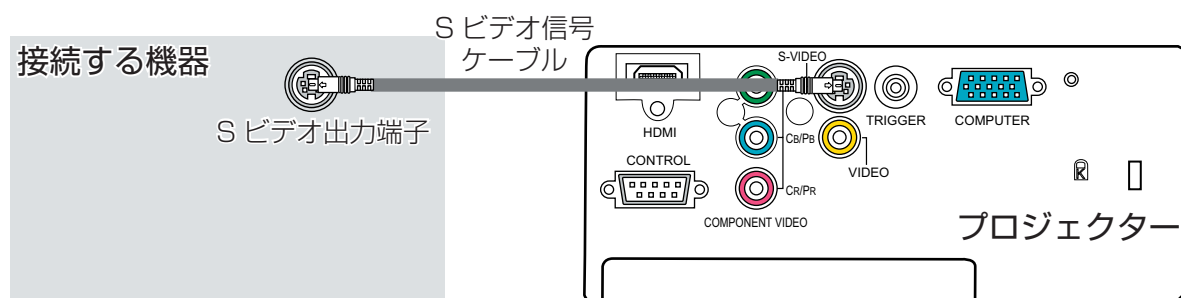
準備

他の機器と接続する

S ビデオ信号の接続例

下図は S ビデオ信号の出力端子のある機器から本機へ映像信号を入力する例です。

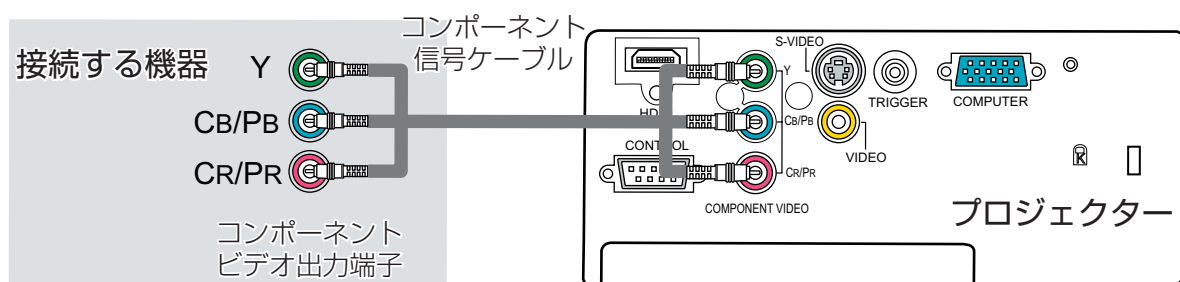
接続する機器の端子 (端子表示例)	信号ケーブル	プロジェクター の端子表示
S ビデオ信号出力 (S 映像出力、S-VIDEO OUT)	S ビデオ信号ケーブル S 端子 ⇔ S 端子	S-VIDEO



コンポーネントビデオ信号の接続例

下図はコンポーネントビデオ信号の出力端子のある機器から本機へ映像信号を入力する例です。

接続する機器の端子 (端子表示例)	信号ケーブル	プロジェクターの端子
コンポーネントビデオ 信号出力 (コンポーネント映像出力)	コンポーネント信号ケーブル RCA 端子 (× 3) ⇔ RCA 端子 (× 3)	COMPONENT VIDEO (Y・C _B /P _B ・C _R /P _R)



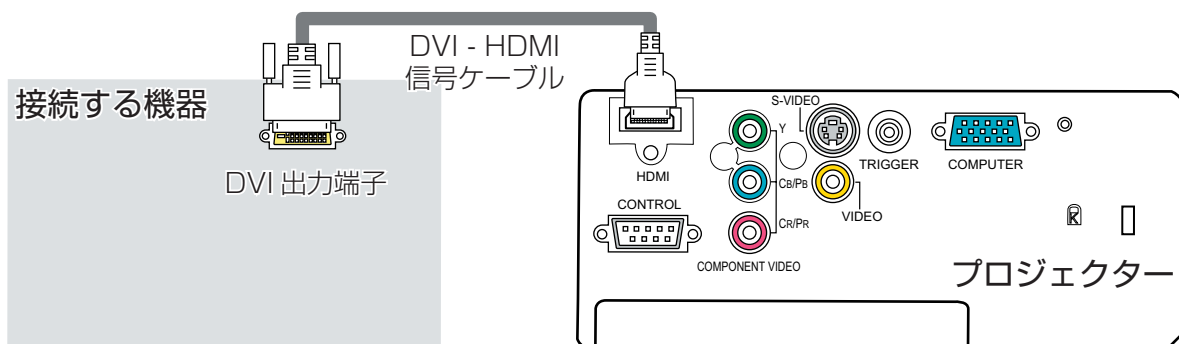
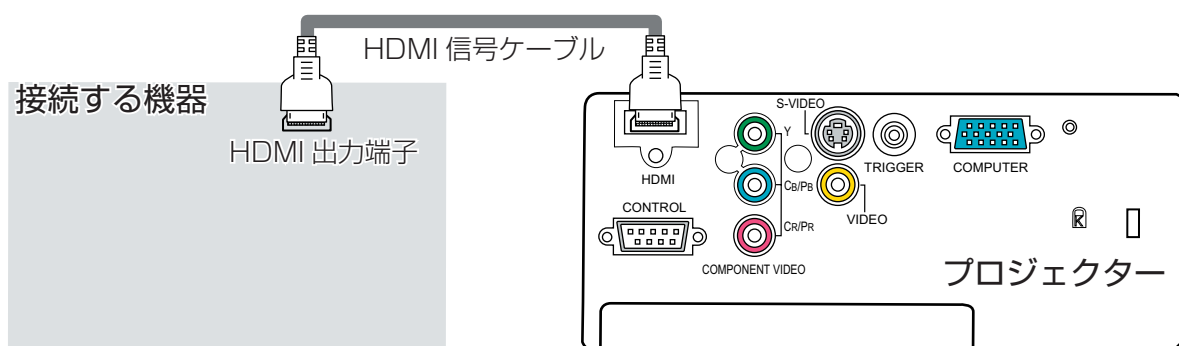
HDMI 信号、DVI 信号の接続例

下図は HDMI 信号または DVI 信号の出力端子のある機器から本機へ映像信号を入力する例です。

準備

他の機器と接続する

接続する機器の端子 (端子表示例)	信号ケーブル	プロジェクターの端子
HDMI 信号出力 (HDMI 出力、HDMI OUT)	HDMI 信号ケーブル HDMI 端子 ⇔ HDMI 端子	HDMI
DVI 信号出力 (DVI 出力、DVI OUT)	DVI - HDMI 信号ケーブル DVI 端子 ⇔ HDMI 端子	



お守りください

コネクタの固定ネジを締めてください

D サブコネクタなど固定ネジのあるコネクタは、ネジを締めてきちんと接続してください。

HDMI 信号の接続には HDMI ロゴ付きの HDMI ケーブルをご使用ください

HDMI 信号の入力には、必ず HDMI ロゴが表示されている HDMI ケーブルをご使用ください。接続ケーブルや接続する機器によっては画像が表示されない場合があります。

お知らせ

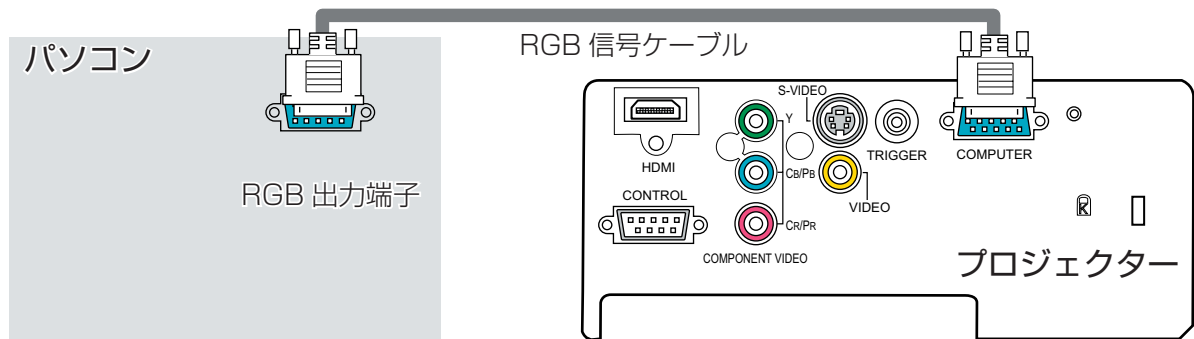
▶ DVI-HDMI ケーブルをご使用になると、DVI 信号を HDMI 端子に入力してご使用いただけますが、信号や接続条件などによってはうまく表示できない場合があります。

▶ HDMI や DVI 信号を出力する機器では、出力をオン/オフできるものがあります。出力をオンにしたとき本機の入力が HDMI 端子に設定されていないと正しく接続できない場合があります。HDMI 端子へ入力するときは、本機と機器とのケーブルを接続し、本機の入力を HDMI 端子に設定した後で、機器の信号出力をオンにしてください。

パソコン（RGB）信号の接続例

下図はパソコンからの映像（RGB）信号を本機へ入力する例です。

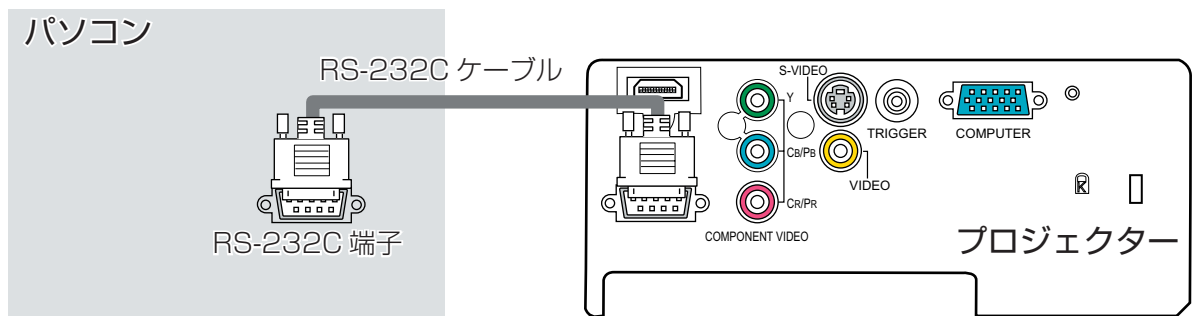
接続する機器の端子 (端子表示例)	信号ケーブル	プロジェクターの端子
RGB 信号出力 (映像出力、RGB OUT)	RGB 信号ケーブル RGB 端子 ⇔ RGB 端子	COMPUTER



RS-232C 通信を行う場合の接続

下図はパソコンからの映像（RGB）信号を本機へ入力する例です。

接続する機器の端子 (端子表示例)	信号ケーブル	プロジェクターの端子
RS-232C 信号出力 (シリアル出力、OIOI)	RS-232C 通信ケーブル RS-232C 端子 ⇔ RS-232C 端子	CONTROL



お守りください

コネクタの固定ネジを締めてください

D サブコネクタなど固定ネジのあるコネクタは、ネジを締めてきちんと接続してください。

お知らせ

▶ RS-232C 通信については、弊社のホームページ（P84 ページ）をご参照になるか、または販売店へお尋ねください。

パソコン信号例

下表は、本機が対応するパソコンの映像（RGB）信号の例です。パソコンと接続の際にご参照ください。

解像度 (水平×垂直)	水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]	規格	信号モード
720 × 400	37.9	85.0	VESA	TEXT
640 × 480	31.5	59.9	VESA	VGA (60Hz)
640 × 480	37.9	72.8	VESA	VGA (72Hz)
640 × 480	37.5	75.0	VESA	VGA (75Hz)
640 × 480	43.3	85.0	VESA	VGA (85Hz)
800 × 600	35.2	56.3	VESA	SVGA (56Hz)
800 × 600	37.9	60.3	VESA	SVGA (60Hz)
800 × 600	48.1	72.2	VESA	SVGA (72Hz)
800 × 600	46.9	75.0	VESA	SVGA (75Hz)
800 × 600	53.7	85.1	VESA	SVGA (85Hz)
1024 × 768	48.4	60.0	VESA	XGA (60Hz)
1024 × 768	56.5	70.1	VESA	XGA (70Hz)
1024 × 768	60.0	75.0	VESA	XGA (75Hz)
1280 × 720	44.7	60.0	VESA	—
1280 × 1024	64.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)

準備

他の機器と接続する

お知らせ

- ▶ 入力信号によってはオートアジャストなどの機能が正しく機能しない場合があります。
- ▶ 入力信号によっては、フルサイズで表示できない場合があります。
- ▶ 本機では入力信号と本機の液晶パネルの解像度（1280 × 720）が同一のときに映像表示は最良となります。本機は SXGA（1280 × 1024）の信号まで表示することができますが、信号処理の過程で本機の液晶パネルの解像度に変換して表示します。
- ▶ DVI-HDMI ケーブルをご使用になると、DVI 信号を HDMI 端子に入力してご使用いただけますが、信号や接続条件などによっては正しく表示できない場合があります。
 - ・ HDMI 端子からパソコン画面の信号を入力する場合、オーバースキャン（[58](#) ページ）の設定を「10」にしてください。全画面表示することができます。
- ▶ ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部映像出力を有効（「LCD と CRT の同時表示」または「CRT」の設定）にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。
- ▶ パソコンによっては複数の表示モードを持っているものがあり、本機が対応できない（仕様外）信号が含まれている場合があります。
- ▶ 同期信号がコンポジット、シンクオングリーンなどの場合は正常に表示できないことがあります。
- ▶ プラグ & プレイについて
プラグ & プレイは、パソコンと表示装置などの周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。
本機は VESA DDC 2B に対応しています。本機を VESA DDC (Display Data Channel) 対応のパソコンに接続してご使用になるとプラグ & プレイを実現できます。
 - ・ 本機の COMPUTER 端子とパソコンを RGB ケーブルで接続してご使用ください。
 - ・ 本機は「プラグ & プレイ・モニタ」として認識されます。このとき、ディスプレイドライバは標準のものをご使用ください。
 - ・ 接続するパソコンによっては、プラグ & プレイが動作しない場合があります。

電源に接続する

プロジェクターの電源端子と、AC（交流）100V の電源コンセントを、付属の電源コードで接続してください。

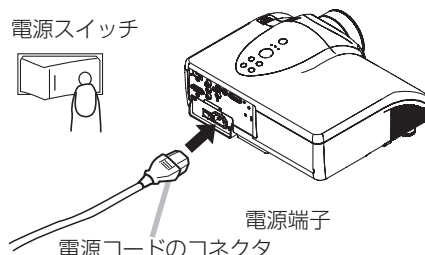
1. コンセント、電源コード、電源プラグアダプタを確認する

- ・ ご使用になるコンセントが AC100V であること、
 - ・ ご使用になるコンセントは、すぐに抜くことができる位置にあること、
 - ・ 電源コード、電源プラグアダプタに損傷が無いこと、
- を確認してください。

電源コードや電源プラグアダプタに損傷があるときは交換が必要です。（3つ穴コンセントをご使用の場合は電源プラグアダプタは不要です。）そのまま使用せず、販売店にご連絡ください。

2. 電源コードをプロジェクターに接続する

- （1）本機の電源スイッチが切れている（「○」側が押されている）ことを確認してください。
- （2）本機の電源端子のプラグ（刃）からほこりなどの付着物を取り除いてください。
- （3）電源コードのコネクタ（刃の無い方）を、本機の電源端子に接続します。しっかりと奥まで差し込んでください。コンセントはゆるみやがたつきが無いものを使用してください。

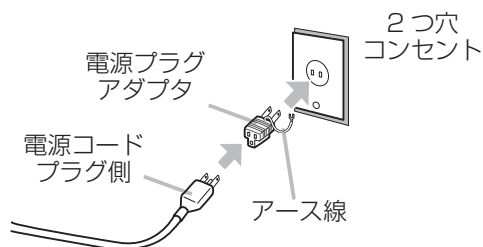


3. 電源プラグアダプタをコンセントに接続する

＜2つ穴のコンセントを使用する場合＞（3つ穴のコンセントを使用する場合は4.へ）

- （1）電源プラグアダプタのプラグ（刃）を乾いた布でふいて、ほこりなどの付着物を取り除いてください。
- （2）電源プラグアダプタのアース線を、コンセントのアース端子に接続します。抜け落ちないように、しっかりと接続してください。
- （3）電源プラグアダプタをコンセントに接続します。しっかりと奥まで差し込んでください。コンセントはゆるみやがたつきが無いものを使用してください。

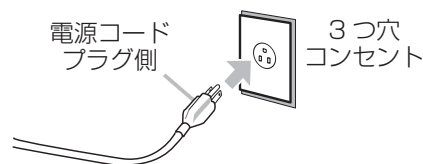
電源コードを抜くときは、アース線を外す前にプラグをコンセントから抜いてください。



4. 電源コードをコンセントに接続する

(1) 電源コードのプラグ（刃）を乾いた布でふいて、ほこりなどの付着物を取り除いてください。

(2) 電源コードのプラグをコンセントに接続します。
2つ穴のコンセントをご使用の場合はコンセントに差し込んだ電源プラグアダプタに、3つ穴のコンセントをご使用の場合はそのままコンセントに、しっかりと奥まで差し込んでください。



準備

電源に接続する

電源の接続についてのご注意

警告

異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

・電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

指定の電源電圧で使用する

指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。
必ず交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。

電源コードは同梱品はまた所定のものを使用する

仕様の合わない電源コードを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。本機に同梱されている電源コードをご使用ください。

電源コードや接続ケーブルを傷つけない

損傷のある電源コードや電源プラグアダプタを使用すると、火災や感電の原因となります。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

- ▶ 本機など、重い物を載せないでください。
- ▶ ヒータや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。
- ▶ コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。
- ▶ 投げたり、ひきずったりしないでください。
- ▶ 加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

ぬれた手で電源を接続したり外したりしない

感電の原因となります。ぬれた手で電源コードや電源プラグアダプタを取り扱わないでください。

電源プラグは付着物をふき取ってから使用する

本機の電源端子や電源コード、電源プラグアダプタのプラグ（刃）部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。
必ず接続の前に、乾いた布でふき取ってください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

電源の接続が不完全だと、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。
電源コードや電源プラグアダプタを接続するときは、根元まで確実に差し込んでください。
▶ ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。

アース線を必ず接地する

アース線を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。

- ▶ 2つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプタで使用するなり、必ずアース線を接続してください
- ▶ アース線を接続するときは、電源プラグアダプタをコンセントに差し込む前に、アース線をアース端子に接続してください。
- ▶ アース線を外すときは、先に電源プラグアダプタをコンセントから抜いてから外してください。
- ▶ 電源コードや電源プラグアダプタは本機に付属のものをご使用ください。付属品が損傷した場合は販売店にご相談ください。

アース線をコンセントに差し込まない

アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。
アース線はアース端子以外には接続しないでください。

リモコンを準備する

本機の操作のほとんどは、付属のリモコンで行うことができます。

電池を入れる

付属のリモコンに、単 4 乾電池 2 本を入れてご使用ください。

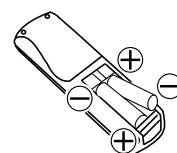
1 電池カバーを開ける

- 電池カバーはリモコンの裏側（ボタンの無い方）にあります。ツマミ部分を軽く押しながら、手前に引くようにすると電池カバーが外れて、中の電池ケースが確認できます。



2 電池を入れる

- 電池ケースに電池を入れます。電池の向きは、必ず電池ケースの中の極性表示（⊕、⊖）に従ってください。



3 電池カバーを閉める

- 電池カバーをリモコンに取り付けます。ツマミ部分を軽く押しながら、外したときと逆の方向に滑らせて、カチッというまで押してください。



⚠ 警告

電池の取扱いに注意する

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

- ▶ 充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。
- ▶ リモコンの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。
- ▶ 交換するときは、新しい（未使用の）**単 4 型乾電池を 2 個**、使用してください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用したりしないでください。
- ▶ 火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
- ▶ 電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製のもので持たないでください。
- ▶ 子供やペットが届かないところに保管してください。
- ▶ 衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 傷のある電池は使用しないでください。
- ▶ 長時間使用しない場合は、リモコンから取り出して保管してください。
- ▶ 廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

リモコン操作について

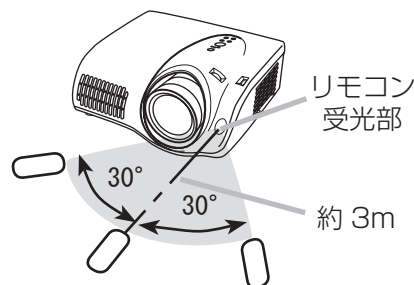
本機のリモコンは、プロジェクターのリモコン受光部へ信号を送って機能します。

リモコンからの信号は、以下の範囲で有効です。

有効範囲：リモコン受光部から正面約 3m、
左右に各 30° 以内

プロジェクターの背面側から操作するときなど、リモコン受光部への直接送信がしにくい場合は、スクリーンなどに反射させて送信することができます。

ただし反射面によってはうまく操作できない場合があります。



準備

リモコンを準備する

バックライト機能を使う (リモコンのボタンを光らせる)

暗い場所で操作するときなど、リモコンのボタンを少しの間、点灯することができます。

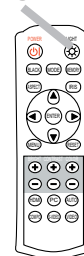


リモコンの LIGHT ボタンを押す

リモコンの右上にある LIGHT ボタンを押すと、リモコンの全てのボタンが点灯します。

ボタンを押さずに約 10 秒間経過すると、自動的に消灯します。

LIGHT ボタン



警告

高温に注意する

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気は高温になり、やけどや火災の原因となります。排気口の近くにリモコンを置かないでください。

注意

リモコンを分解しない、改造しない

火災や故障の原因となることがあります。

お知らせ

- ▶ 本機のリモコンは、赤外線プロジェクターに信号を送っています。(クラス 1LED 製品)
- ・ リモコンと本機の受光部の間に障害物があると信号は届かなくなります。
- ・ リモコンとリモコン受光部との距離が限度を超えると信号は届かなくなります。

お守りください

リモコンに衝撃をあたえないでください
破損や故障の原因となることがあります。

- ▶ 投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 上に乗ったり重いものを載せたりしないでください。

リモコンをぬらさないでください

故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。

- ▶ 水を掛けたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください

リモコン送信の障害となって、リモコンが利かないことがあります。

光源や直射日光などの強い光を避けてください

リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

- ▶ インバータ蛍光灯の光を至近距離からリモコン受光部に当てないでください。

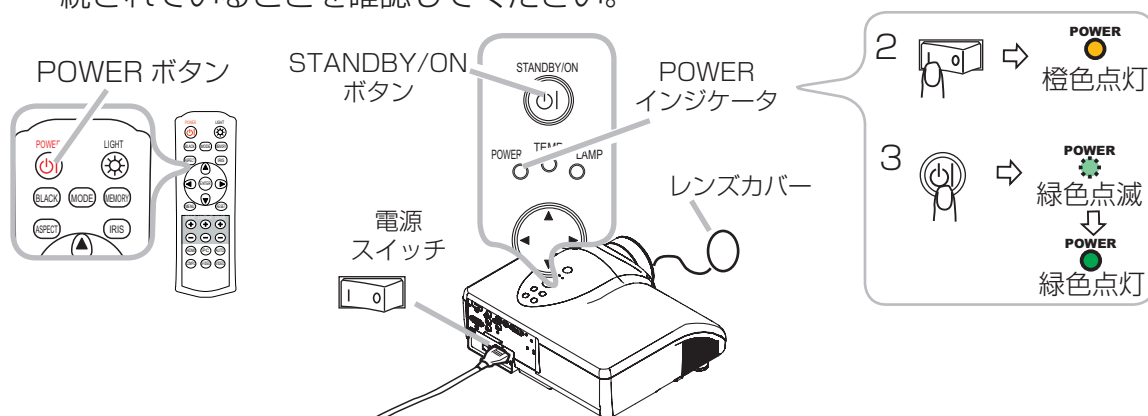
投写する

電源を入れる

プロジェクターの電源を入れます。機器のトラブルを防ぐため、説明書などに指定が無い限り、接続した他の機器より先に本機の電源を入れてください。

1 信号ケーブル、電源コードの接続状態を確認する

- 信号ケーブル（[23～29ページ](#)）や電源コード（[30ページ](#)）が正しく接続されていることを確認してください。



2. レンズカバーを外し、電源スイッチを入れる（「I」側を押す）

- 電源スイッチを入れると、POWER インジケータが橙色に点灯します。

3. 操作パネルの STANDBY/ON ボタン、またはリモコンの POWER ボタンを押す

操作パネルの STANDBY/ON ボタンまたはリモコンの POWER ボタンを押すと、ランプが点灯し、POWER インジケータが緑色に点滅します。

電源が入ると、POWER インジケータは点滅をやめ、緑色に点灯します。接続した他の機器の電源を入れて準備してください。

警告

レンズをのぞかない

ランプの点灯中はレンズから強い光が出ます。視覚障害の原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

お守りください

電源は他の機器より先に入れる

接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、説明書などに指定のない限り、本機の電源は他の機器より先に入れてください。

お知らせ

▶ 電源スイッチを入れた直後はボタン操作が無効になることがあります。電源スイッチを入れて STANDBY/ON ボタンまたは POWER ボタンを押してもランプが点灯しない場合は、数秒待ってもう一度押してください。

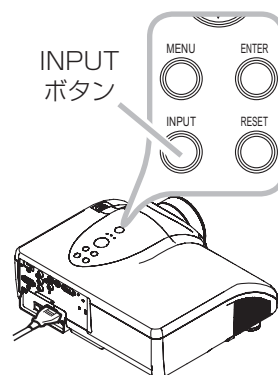
入力信号を選ぶ

プロジェクターの 5 つの映像入力端子のうち、表示したい映像信号を接続した端子を指定します。以下のいずれかの方法で端子を選んでください。



操作パネルの INPUT ボタンを押す

INPUT ボタンを押すたびに、以下の順序で入力端子が切り替わります。



投写する

電源を入れる／入力信号を選ぶ



リモコンの入力選択ボタンを押す

リモコンには 5 つの映像入力端子各々に対応するボタンがあり、端子を直接選ぶことができます。

- COMPO ボタン → COMPONENT VIDEO 端子
S-VIDEO ボタン → S-VIDEO 端子
VIDEO ボタン → VIDEO 端子
PC ボタン → COMPUTER 端子
HDMI ボタン → HDMI 端子



画面を調整する

画面の位置や大きさを調整します。画像の明るさや色あいなどの調整については「基本的な調整」(P39 ページ～)、「お好み調整」(P44 ページ～)をご覧ください。

自動調整する



リモコンの AUTO ボタンを押す

AUTO ボタンを押すと、入力信号に合わせて、画面の位置や大きさを自動的に調整することができます。調整される内容は以下の通りです。

■ COMPUTER 端子からの入力信号のとき

調整内容：垂直位置、水平位置、クロック位相、水平サイズ、アスペクト

■ HDMI 端子からの入力信号のとき

調整内容：アスペクト

■ COMPONENT VIDEO 端子からの入力信号のとき

調整内容：垂直位置、水平位置、アスペクト、クロック位相

ただし入力信号が、525i (480i) 信号、625i (576i) 信号、または SCART RGB 信号の場合は、クロック位相は調整されません。

■ S-VIDEO、VIDEO 端子からの入力信号のとき

調整内容：ビデオフォーマット、垂直位置、水平位置、アスペクト

ただし、ビデオフォーマットは「入力」メニューの「ビデオフォーマット」が「オート」に設定されているときだけ調整されます。(P61 ページ)

お守りください

自動調整を実行するときは、アプリケーションのウィンドウ表示を最大にし、明るい映像を表示して実行してください。

暗い映像では正しく調整されないことがあります。

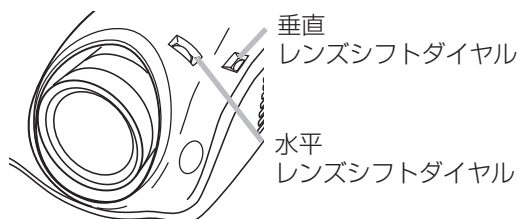
お知らせ

▶ 自動調整の実行には 10 秒程度の時間が掛かることがあります。また入力信号によっては正しく調整できないことがあります。

▶ アスペクト、垂直位置、水平位置、クロック位相、水平サイズについては詳細メニューの「表示」(P58,59 ページ)を、ビデオフォーマットについては詳細メニューの「入力」(P61 ページ)をご参照ください。お好みに合わせて設定することもできます。

投写位置を調整する

プロジェクターのレンズシフトダイヤルでレンズの位置を操作すると、投映画面の位置を調節することができます。



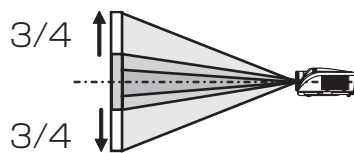
投写する

画面を調節する



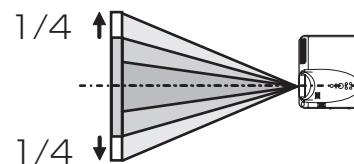
画面を上下に移動したいとき

垂直レンズシフトダイヤルを回すと画面が上下に移動します。中央位置（ダイヤルにカチッという感触があります）から、上下各々に約 $1/2 \sim 3/4$ 画面分移動できます。



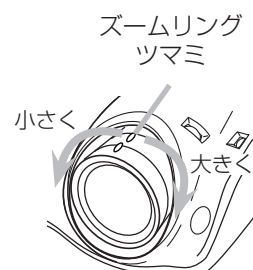
画面を左右に移動したいとき

水平レンズシフトダイヤルを回すと画面が左右に移動します。中央位置（ダイヤルにカチッという感触があります）から、左右各々に約 $1/10 \sim 1/4$ 画面分移動できます。



ズーム（表示倍率）を調節する

ズームリングのつまミを持って左右に回すと、映像を小さくしたり、大きくしたりすることができます。



フォーカス（焦点）を合わせる

映像を見ながら、フォーカスリングのつまミを持って左右に回し、レンズの焦点を合わせてください。



⚠ 注意

レンズの周りに指や物を入れない

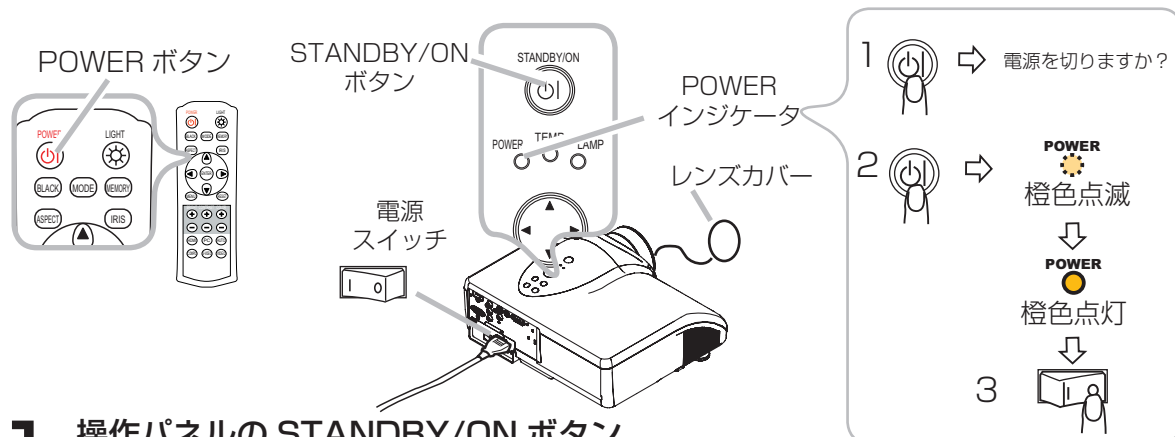
指を挟んでけがの原因となったり、異物が入って故障の原因となることがあります。

お知らせ

▶ レンズシフトは一般に、水平、垂直ともに中央位置に調節されているときに、最も良い画質が得られます。

電源を切る

プロジェクターの電源を切る前に、機器のトラブルを防ぐため、説明書などに指定が無い限り、接続した他の機器の電源を先に切ってください。



1. 操作パネルの STANDBY/ON ボタン、またはリモコンの POWER ボタンを押す

操作パネルの STANDBY/ON ボタンまたはリモコンの POWER ボタンを押すと、「電源を切りますか？」のメッセージが約 5 秒間表示されます。

2. 操作パネルの STANDBY/ON ボタン、またはリモコンの POWER ボタンを、もう一度押す

「電源を切りますか？」のメッセージが表示されている間に、もう一度 STANDBY/ON ボタンまたは POWER ボタンを押してください。ランプが消えて、POWER インジケータが橙色に点滅します。

本機の冷却が終わると POWER インジケータは点滅をやめ、橙色に点灯します。

3. 電源スイッチを切って（「O」側を押す）、レンズカバーを閉じる

POWER インジケータが橙色に点灯している（点滅しない）ことを確認したら、電源スイッチを切ってレンズカバーを閉じてください。

お守りください

電源は正しい手順で切ってください

正しい手順をふまずに電源スイッチを切ったり電源プラグを抜いたりすると、冷却が正常に行われず、本機の寿命を縮めたり、投写ランプがつきにくくなる場合があります。非常時を除き、電源は決められた手順で切ってください。POWER インジケータが緑色に点灯または橙色に点滅しているときに電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。

▶ 万一、正しい手順で電源が切れない場合は接続パネルのリスタートスイッチをピンなどの細い棒で押してください。正しい手順で電源が切れない場合以外はリスタートスイッチを押さないでください。

▶ リスタートスイッチの使用や停電などによって、正しい手順をふまずに電源を切った（切れた）場合は、電源スイッチの「O」側を押し、10 分以上放置して冷ましてください。

電源は他の機器の電源を切ってから切る

接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、説明書などに指定の無い限り、他の機器の電源を先に切ってから、本機の電源を切ってください。

基本的な調整（リモコン操作編）

ここでは画像の基本的な調整についてご説明します。お好みに合わせて、より詳細な調整を行いたい場合は「お好み調整」（[44～70ページ](#)）をご覧ください。

アスペクト（画面の縦横比）を選ぶ

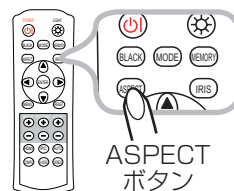
画面の縦と横のサイズの比を「アスペクト」と呼びます。

通常は自動調整（[36ページ](#)）を実行すると映像信号本来のアスペクトを自動で設定できますが、自動調整が正しく働かない場合や、他のアスペクトで表示したい場合は、お好みのアスペクトを指定することもできます。



リモコンの ASPECT ボタンを押す

ASPECT ボタンを押すたびに、アスペクトが切り替わります。入力信号によって表示できるアスペクトは異なります。



■パソコン（RGB）信号のとき

ノーマル → 4 : 3 → 16 : 9



■HDMI 信号のとき

ノーマル → 4 : 3 → 16 : 9 → ワイド → 映画 -1 → 映画 -2 → 14 : 9



■ビデオ（ビデオ、Sビデオ、コンポーネントビデオ）信号のとき

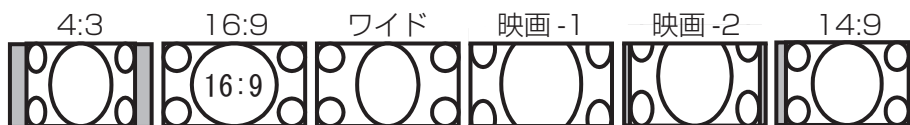
4 : 3 → 16 : 9 → ワイド → 映画 -1 → 映画 -2 → 14 : 9



■入力信号が無いとき、本機の仕様に合わない信号のとき

16 : 9（固定）

16 : 9 の
映像信号を表示
するときの例



4 : 3 の
映像信号を表示
するときの例



お知らせ

- ▶ 「ノーマル」では入力信号本来のアスペクトが設定されます。また自動調整（[36, 59ページ](#)）が実行されたときにも入力信号本来のアスペクトが設定されます。
- ▶ 「映画 -1」「映画 -2」はレターボックス信号用です。字幕を表示するときは「映画 -2」をご使用ください。
- ▶ アスペクトが適切に設定されていないと映像の端にノイズが現れることがあります。この場合はアスペクトを切り替えてご使用ください。
- ▶ アスペクトは「簡単メニュー」（[45ページ](#)）や詳細メニュー「表示」（[58ページ](#)）の「アスペクト」でも設定することができます。

投写する

基本的な調整
（リモコン操作編）

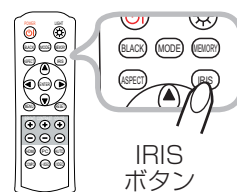
電源を切る／アスペクト（画面の縦横比）を選ぶ

アイリス（絞り）を調節する

本機は、投写する光の量を調節するためのレンズアイリスを備えています。
レンズアイリスはご使用になる場所の明るさや映像に合わせて調節することができます。

1 リモコンの IRIS ボタンを押す

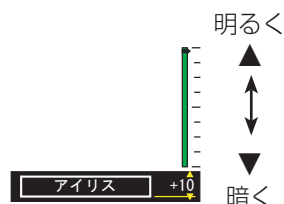
- IRIS ボタンを押すと、アイリスを調節するためのダイアログが表示されます。



2 リモコンのカーソルボタン▲ / ▼で調節する

- カーソルボタンを押すと、アイリスを調節できます。

IRIS ボタンを押すか、ボタンを押さずに数秒間経過すると、ダイアログが消えて調節が終了します。



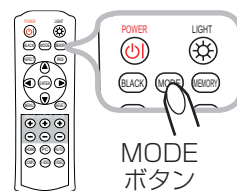
モード（ガンマ、色温度、アイリス）を選ぶ

「モード」は、ガンマ、色温度、アイリスの調整の組合せです。
映像に合わせて選択することができます。



リモコンの MODE ボタンを押す

MODE ボタンを押すたびに、モードが切り替わります。
各モードの内容は下表の通りです。



ノーマル → シネマファンタジー → シネマリアリティ → ミュージック → スポーツ



モード名	ガンマ	色温度	アイリス	内 容
ノーマル	標準	7500K	7	標準的な画質で幅広くお楽しみいただけます。
シネマファンタジー	ファンタジー	6500K	5	フィルムライクな階調表現を重視した設定です。映画をじっくりとした映像でお楽しみいただけます。
シネマリアリティ	リアリティ	6500K	5	リアルな階調表現を重視したモード設定です。映画をくっきりした映像でお楽しみいただけます。
ミュージック	リアリティ	7500K	7	ビデオライクな階調表現を重視した設定です。ライブ・コンサートなどのビデオコンテンツに適します。
スポーツ	ハイコントラスト	9300K	10	スポーツなどの明るい映像を重視した設定です。ハイビジョン放送やスポーツ放送などに適します。

ブラック（黒色の照度）を選ぶ

本機は、入力信号に合わせて投写する光の量を自動的に制御するアクティブアイリスを備えています。

「ブラック」はアクティブアイリスの制御方法を決めるモードで、切り替えると黒色の照度が変わります。ご使用になる場所の明るさや映像に合わせて選択してください。



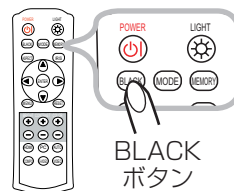
リモコンの BLACK ボタンを押す

BLACK ボタンを押すたびに、「ブラック」が切り替わります。各モードの内容は下表の通りです。

オフ ➡ オート 1 ➡ オート 2



モード名	内 容
オフ	アクティブアイリスを常に開放します。
オート 1	映像に合わせて光の量を制御します。暗部の引き締まった映像をお楽しみいただけます。
オート 2	映像に合わせて光の量を制御します。オート 1 より一層暗部の引き締まった映像をお楽しみいただけます。



基本的な調整
(リモコン操作編)

アイリスを調節する
(絞り)

モードを選ぶ
(ガンマ、色温度、アイリス)

ブラックを選ぶ
(黒色の照度)

お知らせ

- ▶ アイリスの調節は、調節用のダイアログが表示されている間にプロジェクターまたはリモコンの RESET ボタンを押すと、初期化することができます。
- ▶ アイリスは詳細メニュー「映像」の「アイリス」(P54 ページ) でも設定できます。
- ▶ 詳細メニュー「スクリーン」の「メッセージ」(P66 ページ) が「表示する」に設定されているとき、「モード」を切り替えると選択されたモード名が表示されます。ガンマ、色温度、アイリスの組合せが、どのモードとも一致しない場合は「カスタム」と表示されます。
- ▶ 「モード」は「簡単メニュー」の「モード」(P46 ページ) でも設定できます。
- ▶ 「ブラック」を「オート 1」または「オート 2」に設定すると画面がちらつくことがあります。気になるときは「オフ」にしてご使用ください。
- ▶ 「ブラック」は「簡単メニュー」(P46 ページ) や詳細メニュー「映像」の「ブラック」(P55 ページ) でも設定できます。

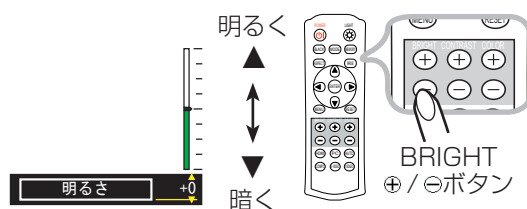
明るさを調節する

ご使用になる場所の明るさや映像に合わせて、明るさを調節してください。

○ リモコンの BRIGHT ボタン ⊕ / ⊖ で調節する

BRIGHT ボタンを押すと、明るさを調節するためのダイアログが表示され、明るさを調節できます。

数秒間ボタンを押さないと、ダイアログは自動的に消えて調節が終了します。



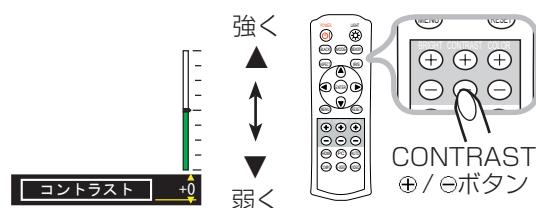
コントラストを調節する

ご使用になる場所の明るさや映像に合わせて、コントラストを調節してください。

○ リモコンの CONTRAST ボタン ⊕ / ⊖ で調節する

CONTRAST ボタンを押すと、コントラストを調節するためのダイアログが表示され、コントラストを調節できます。

数秒間ボタンを押さないと、ダイアログは自動的に消えて調節が終了します。



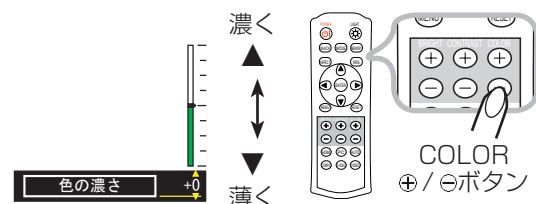
色の濃さを調節する

ご使用になる場所の明るさや映像に合わせて、色の濃さを調節してください。この機能は、ビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオおよび HDMI 信号で有効です。

○ リモコンの COLOR ボタン ⊕ / ⊖ で調節する

COLOR ボタンを押すと、色の濃さを調節するためのダイアログが表示され、色の濃さを調節できます。

数秒間ボタンを押さないと、ダイアログは自動的に消えて調節が終了します。



お知らせ

- ▶ 明るさ、コントラスト、色の濃さの調節は、調節用のダイアログが表示されている間にプロジェクターまたはリモコンの RESET ボタンを押すと、初期化することができます。
- ▶ 明るさを調節するとき、一瞬画面にノイズが現れることがありますが、故障ではありません。
- ▶ 明るさ、コントラスト、色の濃さは「簡単メニュー」(47 ページ) や詳細メニュー「映像」の「明るさ」「コントラスト」「色の濃さ」(51, 54 ページ) でも設定できます。

保存したデータで調整する

本機は、画像を調整したデータを保存するためのメモリーを 4 つ備えており、調整データを一式 1 組で、最大 4 組まで保存することができます。(55 ページ) 保存できる調整項目は以下の通りです。

保存内容：明るさ、コントラスト、色の濃さ、色あい、画質、アイリス、ガンマ、色温度、ブラック、静音、デジタルシャッター

保存データを読み出すと、表示中の画像を、読み出したデータに従って自動的に調整することができます。

※ 「スクリーン」メニューの「メッセージ」(66 ページ) が「表示しない」に設定されている場合は下記の 1 が省略されます。保存データがあると、MEMORY ボタンを 1 回押した時点で画像が調整され、ボタンを押す前の調整は失われますのでご注意ください。

1. <「メッセージ」が「表示する」に設定されている場合のみ> リモコンの MEMORY ボタンを押す

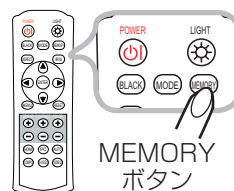
MEMORY ボタンを押すと、現在の調節状態をお知らせするダイアログが表示されます。

■登録されている調整データのいずれかと一致する場合

1. CUSTOM-1 (「カスタム -1」と一致する場合の例)

■登録されている調整データのいずれとも一致しない場合

一時保存状態
ENTER : この状態をセーブする
MEMORY : 保存しているデータを読み出す
← : 戻る



2. リモコンの MEMORY ボタンを押す

MEMORY ボタンを押すたびに、登録データを順次呼び出して画像を自動調整します。ただしデータが登録されていないメモリーは無視されます。どのメモリーにもデータが登録されていない場合はメッセージが表示され、調整されません。

■登録されているデータがある場合

1. CUSTOM-1 → 2. CUSTOM-2 → 3. CUSTOM-3 → 4. CUSTOM-4



保存データ無し

■登録されているデータがない場合

お知らせ

- ▶ 「CUSTOM-1」などのメモリーの名前は変更することができます。(57 ページ) ダイアログの表示もこれに応じて変わりますが、名前の前に表示される番号は変わりません。
- ▶ 異なる入力信号で調整された保存データでの自動調整は、正しく調整されないことがあります。
- ▶ 「一時保存状態」のダイアログが表示されている間にプロジェクターまたはリモコンのENTER ボタンを押すと、調整データ登録用の「マイメモリー」メニューが表示されます。登録を行う場合は詳細メニュー「映像」の「マイメモリー」(55 ページ) に従って操作を続けてください。詳細メニュー「映像」の「マイメモリー」をご使用になるとデータの呼び出しも登録も可能です。

基本的な調整
(リモコン操作編)

明るさを調節する / コントラストを調節する / 色の濃さを調節する / 登録したデータで調整する

お好み調整（簡単メニュー編）

基本的な調整機能や特に便利な機能だけを、簡単な操作でご使用いただくためのメニューが「簡単メニュー」です。

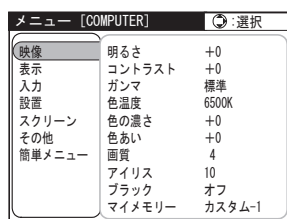
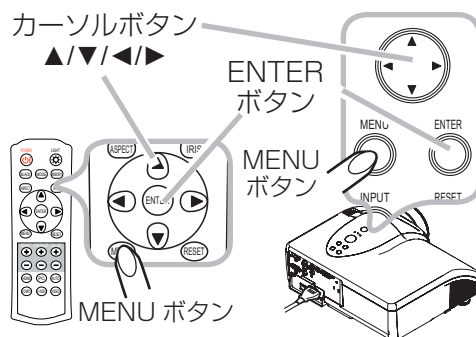
簡単メニューの基本操作

1 メニューを表示する

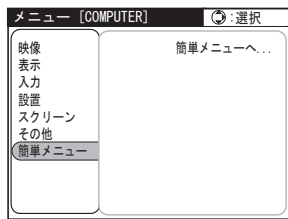
- 操作パネルまたはリモコンの MENU ボタンを押すと、簡単メニューまたは詳細メニューのいずれかが表示されます。

詳細メニューを簡単メニューに切り替えるには

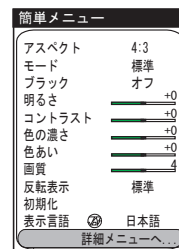
- (1) 操作パネルまたはリモコンのカーソルボタン ▲/▼ で詳細メニューの左欄の「簡単メニューへ」を選んでください。
- (2) 選んだら、操作パネルまたはリモコンのカーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。



詳細メニュー（例）



詳細メニュー



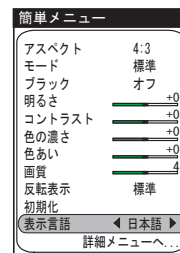
簡単メニュー

2 操作項目を選ぶ

- カーソルボタン ▲/▼ で操作したい項目を選んでください。

■ 表示言語を切り替えたい場合の例

カーソルボタン ▲/▼ で簡単メニューの下から 2 行目を選んでください。「表示言語」に相当する文言は、どの言語でもこの位置にあります。



お知らせ

▶ 簡単メニューの操作は、その項目が選択されている間にプロジェクターまたはリモコンの RESET ボタンを押すと、初期化することができます。ただし、言語表示は初期化されません。

3. 操作する

メニュー表示を見ながら、カーソルボタン ◀/▶ で操作してください。
各項目の詳細については「簡単メニュー」(次項)をご参照ください。

■表示言語を切り替えたい場合の例

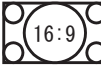
カーソルボタン ◀/▶ を押すたびに、メニューの表示言語が切り替わります。

4. 操作を終了する

MENU ボタンを押すか、ボタンを押さずに数秒間経過すると、メニュー表示が消えて操作が終了します。

簡単メニュー

簡単メニューでは以下の項目を操作することができます。「簡単メニューの基本操作」(前項)に従って操作項目を選んだ後、下表を参考に操作してください。

項目	操作方法
アスペクト 画面の縦と横のサイズの比を選択します。	カーソルボタン ◀/▶ を押すと、アスペクトが切り替わります。 ■パソコン (RGB) 信号のとき ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9  ■HDMI 信号のとき ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ ワイド ↔ 映画 -1 ↔ 映画 -2 ↔ 14:9  ■ビデオ (ビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオ) 信号のとき 4:3 ↔ 16:9 ↔ ワイド ↔ 映画 -1 ↔ 映画 -2 ↔ 14:9  ■入力信号が無いとき、本機の仕様に合わない信号のとき 16:9 (固定) 4:3 16:9 ワイド 映画 1 映画 2 14:9            
	お知らせ ▶ 「ノーマル」では入力信号本来のアスペクトが設定されます。また自動調整 (36, 59 ページ) が実行されたときにも入力信号本来のアスペクトが設定されます。 ▶ 「映画 -1」「映画 -2」はレターボックス信号用です。字幕を表示するときは「映画 -2」をご使用ください。 ▶ アスペクトが適切に設定されていないと映像の端にノイズが現れることがあります。この場合はアスペクトを切り替えてご使用ください。 ▶ アスペクトは、リモコンの ASPECT ボタン (39 ページ) や詳細メニュー「表示」の「アスペクト」 (58 ページ) でも設定できます。

(次ページにつづく)

お好み調整
(簡単メニュー編)

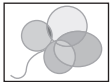
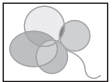
簡単メニューの基本操作 / 簡単メニュー

(「簡単メニュー」 つづき)

項目	操作方法
モード ガンマ、色温度、アイリスの組合せのモードです。	カーソルボタン ◀/▶ を押すと、「モード」が切り替わります。 ノーマル ↔ シネマファンタジー ↔ シネマリアリティ ↔ ミュージック ↔ スポーツ ↑ ■ノーマル ガンマ：標準、色温度：7500K、アイリス：7 標準的な画質設定です。幅広い映像でお楽しみいただけます。 ■シネマファンタジー ガンマ：ファンタジー、色温度：6500K、アイリス：5 フィルムライクな階調表現を重視した設定です。映画をじっくりした映像でお楽しみいただけます。 ■シネマリアリティ ガンマ：リアリティ、色温度：6500K、アイリス：5 リアルな階調表現を重視した設定です。映画をくっきりした映像でお楽しみいただけます。 ■ミュージック ガンマ：リアリティ、色温度：7500K、アイリス：7 ビデオライクな階調表現を重視した設定です。ライブ・コンサートなどのビデオコンテンツに適します。 ■スポーツ ガンマ：ハイコントラスト、色温度：9300K、アイリス：10 コントラスト感を重視した設定です。ハイビジョン放送やスポーツ放送などに適します。 お知らせ ▶ モードは、リモコンの MODE ボタン (40 ページ) でも設定できます。 ▶ ガンマ、色温度、アイリスの組合せがどのモードとも一致していないとき、簡単メニューの「モード」の右には「カスタム」と表示されます。
ブラック アクティブアイリスの制御方法を決めるモードです。切り替えると黒色の照度が変わります。	カーソルボタン ◀/▶ を押すと、「ブラック」が切り替わります。 オフ ↔ オート 1 ↔ オート 2 ↑ ■オフ アクティブアイリスを常に開放します。 ■オート 1 映像に合わせて投写する光の量を自動調整します。暗部の引き締まった映像をお楽しみいただけます。 ■オート 2 映像に合わせて投写する光の量を自動調整します。オート 1 より一層くっきりした映像をお楽しみいただけます。 お知らせ ▶ 「ブラック」を「オート 1」または「オート 2」に設定すると画面がちらつくことがあります。気になる場合は「オフ」にしてご使用ください。 ▶ 「ブラック」は、リモコンの BLACK ボタン (41 ページ) や詳細メニュー「映像」の「ブラック」(55 ページ) でも設定することができます。

(次ページにつづく)

(「簡単メニュー」つづき)

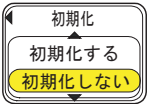
項目	操作方法
明るさ	カーソルボタン ◀/▶ を使うと、明るさを調節できます。 暗く ↔ 明るく お知らせ ▶ 明るさを調節するとき、一瞬画面にノイズが現れることがありますが、故障ではありません。 ▶ 明るさは、リモコンの BRIGHT ボタン (📖42 ページ) や詳細メニュー「映像」の「明るさ」(📖51 ページ) でも設定できます。
コントラスト	カーソルボタン ◀/▶ を使うと、コントラストが調節できます。 弱く ↔ 強く お知らせ ▶ コントラストは、リモコンの CONTRAST ボタン (📖42 ページ) や詳細メニュー「映像」の「コントラスト」(📖51 ページ) でも設定できます。
色の濃さ	カーソルボタン ◀/▶ を使うと、色の濃さを調節できます。この機能は、ビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオおよび HDMI 信号で有効です。 淡く ↔ 濃く お知らせ ▶ 色の濃さは、リモコンの COLOR ボタン (📖42 ページ) や詳細メニュー「映像」の「色の濃さ」(📖54 ページ) でも設定できます。
色あい	カーソルボタン ◀/▶ を使うと、色あいを調節できます。この機能は、ビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオおよび HDMI 信号は有効です。 赤っぽく ↔ 緑っぽく お知らせ ▶ 色あいは、詳細メニュー「映像」の「色あい」(📖54 ページ) でも設定できます。
画質	カーソルボタン ◀/▶ を使うと、画質を調節できます。 弱く (やわらかな画質に) ↔ 強く (くっきりした画質に) お知らせ ▶ 画質は、詳細メニュー「映像」の「画質」(📖54 ページ) でも設定できます。
反転表示	カーソルボタン ◀/▶ を押すと、下記の順で表示が反転します。 通常表示 ↔ 左右反転 ↔ 上下反転 ↔ 上下左右反転     ↑ お知らせ ▶ 反転表示は、詳細メニュー「設置」の「反転表示」(📖63 ページ) でも設定できます。

お好み調整
(簡単メニュー編)

簡単メニュー

(次ページにつづく)

(「簡単メニュー」 つづき)

項目	操作方法
初期化	カーソルボタン ► を押すと、確認のための「初期化」メニューが表示されます。 初期化する ← 初期化しない カーソルボタン ▲ を押して「初期化」を選ぶと、表示言語を除く簡単メニューの調整項目が初期化されます。 
表示言語	カーソルボタン ◀/▶ を押すと、メニューの表示言語が切り替わります。 ↓ ENGLISH ↕ FRANÇAIS ↕ DEUTSCH ↕ ESPAÑOL ↕ ITALIANO ↕ NORSK ↕ NEDERLANDS ↕ PORTUGUÊS ↕ 日本語 ↑ ↓ 简体中文 ↕ 繁體中文 ↕ 한글 ↕ SVENSKA ↕ РУССКИЙ ↕ SUOMI ↕ POLSKI ↕ TÜRKÇE ↑ お知らせ ► 表示言語は、詳細メニュー「スクリーン」の「表示言語」(📖64 ページ)でも設定できます。
詳細メニューへ	カーソルボタン ► を押すと、簡単メニューが消えて詳細メニューが表示されます。

(次ページにつづく)

お好み調整（詳細メニュー編）

詳細メニューをご使用になると、よりお好みに合わせた詳細な調整を行うことができます。詳細メニューの左上には「メニュー」と表示され、目的別に「映像」「表示」「入力」「設定」「スクリーン」「その他」の6つに分類されています。

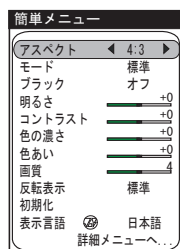
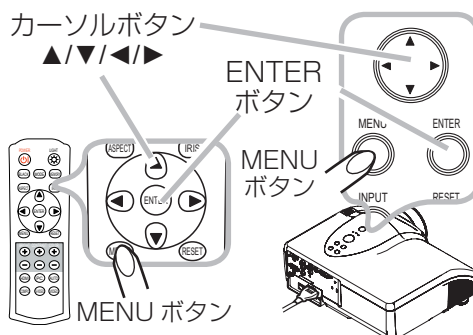
詳細メニューの基本操作

1. メニューを表示する

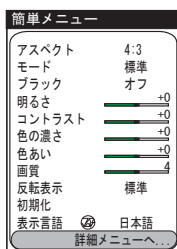
- 操作パネルまたはリモコンの MENU ボタンを押すと、簡単メニューまたは詳細メニューのいずれかが表示されます。

簡単メニューを詳細メニューに切り替えるには

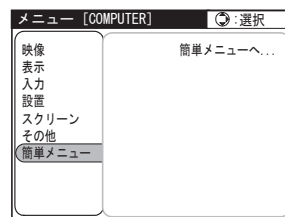
- 操作パネルまたはリモコンのカーソルボタン ▲/▼ でメニューの一番下の「詳細メニューへ」を選んでください。
- 選んだら、操作パネルまたはリモコンのカーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。



詳細メニュー（例）



詳細メニュー



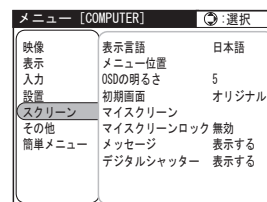
簡単メニュー

2. メニュー（分類）を選ぶ

- メニューの選択は詳細メニューの左欄で行います。メニューカーソル（黄色いハイライトバー）が右欄にある場合は、カーソルボタン ◀ を押して左欄に移動してください。
 - カーソルボタン ▲/▼ でご使用になりたいメニューを選んでください。選択中のメニューの操作項目が右欄に表示されます。
 - 選んだら、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押して、メニューカーソルを右欄に移動してください。
- 別のメニューを選びたい場合は、カーソルボタン ◀ を押すとメニューカーソルを左欄に戻すことができます。

■表示言語を切り替えたい場合の例

「表示言語」は「スクリーン」のメニューにあります。カーソルボタン ▲/▼ で左欄の下から3行目を選び、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。「スクリーン」に相当する文言は、どの言語でもこの位置にあります。



お好み調整
（簡単メニュー編）

お好み調整
（詳細メニュー編）

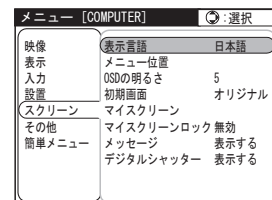
簡単メニュー／詳細メニューの基本操作

3. 操作項目を選ぶ

- (1) カーソルボタン ▲/▼ で操作したい項目を選んでください。
- (2) 選んだら、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。
操作用のメニューやダイアログが表示されます。
別の項目を選びたい場合は、カーソルボタン ◀ を押すと項目選択メニューに戻ることができます。

■表示言語を切り替えたい場合の例

カーソルボタン ▲/▼ で「スクリーン」のメニュー（右欄）の一番上の項目を選び、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。
「表示言語」に相当する文言は、どの言語でもこの位置にあります。



4. 操作する

- メニューやダイアログを見ながら、カーソルボタンを操作してください。
各項目の詳細については、メニューごとの説明（次項～）をご参照ください。

■表示言語を切り替えたい場合の例

「表示言語」メニューを見ながら操作してください。カーソルボタン ▲/▼ を押すと、メニューの表示言語が切り替わります。

5. 操作を終了する

- MENU ボタンを押すか、ボタンを押さずに数秒間経過すると、メニュー表示が消えて操作が終了します。

お知らせ

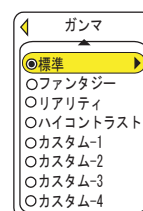
- ▶ 詳細メニューの左欄でメニュー（分類）を選び、プロジェクターまたはリモコンの RESET ボタンを押すと、選んだメニューの項目を一括で初期化することができます。ただし、「言語表示」「マイメモリー」「マイスクリーンロック」「ランプタイマー」「フィルタータイマー」「特別な設定」は初期化されません。
- ▶ 詳細メニューの操作では、その項目のメニューやダイアログが表示されている間にプロジェクターまたはリモコンの RESET ボタンを押すと、調節中の項目を初期化することができます。ただし、「言語表示」「マイメモリー」「マイスクリーンロック」「ランプタイマー」「フィルタータイマー」は初期化されません。

映像メニュー

詳細メニューの「映像」では以下の項目を操作することができます。「詳細メニューの基本操作」(P49 ページ)に従って操作項目を選んだ後、下表を参考に操作してください。

メニュー [COMPUTER]		
映像	明るさ	+0
表示	コントラスト	+0
入力	ガンマ	標準
設定	色温度	6500K
スクリーン	色の濃さ	+0
その他	色あい	+0
簡単メニュー	画質	4
	アイリス	10
	ブラック	オフ
	マイメモリー	カスタム-1

項目	操作方法
明るさ	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、明るさを調節できます。 明るく ↔ 暗く お知らせ ▶ 明るさを調節するとき、一瞬画面にノイズが現れることがありますが、故障ではありません。 ▶ 明るさは、リモコンの BRIGHT ボタン(P42 ページ)や簡単メニューの「明るさ」(P47 ページ)でも設定できます。
コントラスト	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、コントラストを調節できます。 強く ↔ 弱く お知らせ ▶ コントラストは、リモコンの CONTRAST ボタン (P42 ページ) や簡単メニューの「コントラスト」(P47 ページ)でも設定できます。
ガンマ ガンマ調整のためのモードです。	ガンマ調整を、8 つのモードから選択して設定することができます。「ガンマ」メニューでカーソルボタン ▲/▼ を押すと、「ガンマ」が切り替わります。 標準 ↔ ファンタジー ↔ リアリティ ↔ ハイコントラスト ↑ ↓ カスタム -1 ↔ カスタム -2 ↔ カスタム -3 ↔ カスタム -4 ■標準 標準的な設定です。 ■ファンタジー 低階調（暗部）の再現性を重視した設定です。 ■リアリティ リアルな階調表現で映像の臨場感を重視した設定です。 ■ハイコントラスト 映像のコントラスト感を重視した設定です。 ■カスタム -1、カスタム -2、カスタム -3、カスタム -4 固定モード（標準、ファンタジー、リアリティ、ハイコントラスト）のいずれかを下地に、お好みに合わせて調節できるカスタムモードです。カスタムモードの調節については次ページをご覧ください。 (\)

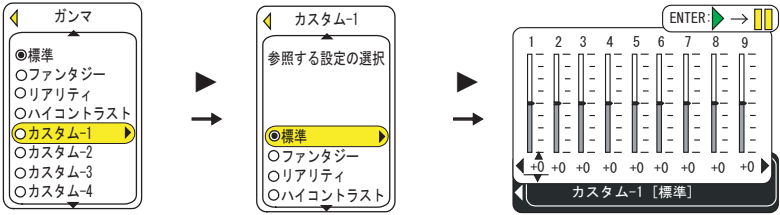
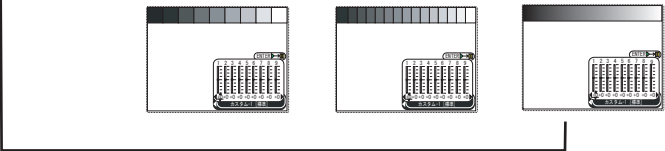


（詳細メニュー編）
お好み調整

詳細メニューの基本操作 / 映像メニュー

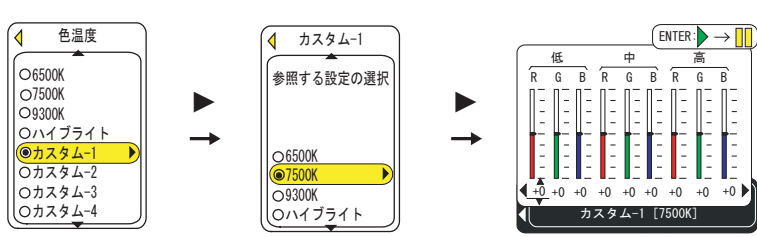
(次ページにつづく)

(「映像メニュー」 つづき)

項目	操作方法
(ガンマ つづき)	(\) カスタムモードを調節するには (1) 調節するカスタムモードを選びます。 「ガンマ」メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使い、カスタムモードのいずれかを選んでください。調節すると、それ以前の調節状態は失われますのでご注意ください。 カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押すと「参照する設定の選択」メニューが表示されます。 (2) 調節の下地にするモードを選びます。 「参照する設定の選択」メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使い、固定モードのいずれかを選んでください。 カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押すと、下地にする固定モードの内容が調節するカスタムモードに複写され、ガンマ調節用のダイアログが表示されます。  (3) テストパターン（グレースケール）を表示することができます。 調節ダイアログが表示されている間に ENTER ボタンを押すと、画像が静止し、テストパターン（グレースケール）が表示されます。ENTER ボタンを押すごとに 3 種類のテストパターン（グレースケール）が順次表示されます。 (表示無し) → 9 階調 グレースケール → 15 階調 グレースケール → ランプ波形  (4) 調節する階調を選びます。 調節ダイアログの 9 本のバーは 9 階調の各々に対応しています。 カーソルボタン ► を押すたびに、一つ右のバーが選択されます。 カーソルボタン ◀ を押すと一番左のバーが選択されます。 (5) カーソルボタン ▲/▼ を使って調節してください。

(次ページにつづく)

(「映像メニュー」つづき)

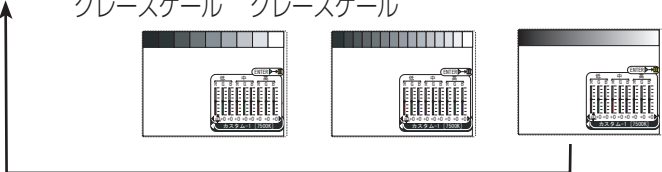
項目	操作方法
色温度 色温度調整のためのモードです。	色温度を、8つのモードから選択して設定することができます。「色温度」メニューでカーソルボタン ▲/▼ を押すと、「色温度」が切り替わります。 6500K ↔ 7500K ↔ 9300K ↔ ハイブライト カスタム -1 ↔ カスタム -2 ↔ カスタム -3 ↔ カスタム -4 ■ 6500K、7500K、9300K モード名と同じ色温度が設定されます。 ■ ハイブライト 映像の明るさを重視し、各色のゲインを最大にした設定です。 ■ カスタム -1、カスタム -2、カスタム -3、カスタム -4 固定モード（6500K、7500K、9300K、ハイブライト）のいずれかを下地に、お好みに合わせて調節できるカスタムモードです。カスタムモードの調節については以下をご覧ください。 カスタムモードを調節するには (1) 調節するカスタムモードを選びます。 「色温度」メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使い、カスタムモードのいずれかを選んでください。調節すると、それ以前の登録は失われますのでご注意ください。 カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押すと「参照する設定の選択」メニューが表示されます。 (2) 調節の下地にするモードを選びます。 「参照する設定の選択」メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使い、固定モードのいずれかを選んでください。 カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押すと、下地にする固定モードの内容が調節するカスタムモードに複写され、色温度調節用のダイアログが表示されます。  (ㇿ)

(次ページにつづく)

お好み調整
(詳細メニュー編)

映像メニュー

(「映像メニュー」 つづき)

項目	操作方法
(色温度 つづき)	(3) テストパターン (グレースケール) を表示することができます。調節ダイアログが表示されている間に ENTER ボタンを押すと、画像が静止し、テストパターン (グレースケール) が表示されます。ENTER ボタンを押すごとに 3 種類のテストパターン (グレースケール) が順次表示されます。 (表示無し) → 9 階調 グレースケール → 15 階調 グレースケール → ランプ波形  (4) 調節する階調を選びます。調節ダイアログの 9 本のバーは、3 階調各々の R、G、B に対応しています。カーソルボタン ▶ を押すたびに、一つ右のバーが選択されます。カーソルボタン ◀ を押すと一番左のバーが選択されます。 (5) カーソルボタン ▲/▼ を使って調節してください。
色の濃さ	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、色の濃さを調節できます。この機能は、ビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオおよび HDMI 信号で有効です。 濃く ↔ 淡く お知らせ ▶ 色の濃さは、リモコンの COLOR ボタン (42 ページ) や簡単メニューの「色の濃さ」 (47 ページ) でも設定できます。
色あい	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、色あいを調節できます。この機能は、ビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオおよび HDMI 信号で有効です。 緑っぽく ↔ 赤っぽく お知らせ ▶ 色あいは、簡単メニューの「色あい」 (47 ページ) でも設定できます。
画質	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、画質を調節できます。 強く (くっきりした画質に) ↔ 弱く (やわらかな画質に) お知らせ ▶ 画質は、簡単メニューの「画質」 (47 ページ) でも設定できます。
アイリス	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、アイリスを調節できます。 明るく ↔ 暗く お知らせ ▶ アイリスは、リモコンの IRIS ボタン (40 ページ) でも設定できます。

(次ページにつづく)

(「映像メニュー」つづき)

項目	操作方法
ブラック アクティブ・アイリスの制御方法を決めるモードです。切り替えると黒色の照度が変わります。	カーソルボタン ▲/▼ を押すと、「ブラック」が切り替わります。 オフ ↔ オート 1 ↔ オート 2  ■オフ アクティブ・アイリスを常に開放します。 ■オート 1 映像に合わせて投写する光の量を自動調整します。暗部の引き締まった映像をお楽しみいただけます。 ■オート 2 映像に合わせて投写する光の量を自動調整します。オート 1 より一層暗部の引き締まった映像をお楽しみいただけます。 お知らせ ▶ ブラックを「オート 1」または「オート 2」に設定すると画面がちらつくことがあります。気になる場合は「オフ」にしてご使用ください。 ▶ ブラックは、リモコンの BLACK ボタン (41 ページ) や簡単メニューの「ブラック」(46 ページ) でも設定することができます。
マイメモリー 明るさや色などの調整データを保存し、呼び出して自動的に調整します。	本機は、調整データを一式 1 組で、最大 4 組まで保存することができます。保存できる調整項目は以下の通りです。 明るさ、コントラスト、色の濃さ、色あい、画質、アイリス、ガンマ、色温度、ブラック、静音、デジタルシャッター 保存データを呼び出すと、表示中の画像を、呼び出したデータに従って自動的に調整することができます。 保存データを呼び出して自動調整するには 「マイメモリー」(小) メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使い、呼び出したいメモリーを選んでください。 ただし、データが保存されていないメモリーは選択できません。また「セーブ」はメモリーではなく、登録操作のメニューを呼び出すときに選択します。(42 次ページ)  「マイメモリー」メニュー (小) 1. CUSTOM-1 ↔ 2. CUSTOM-2 ↔ 3. CUSTOM-3 ↔ 4. CUSTOM-4 ↔ セーブ  カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押すと、選択したメモリーのデータに従って画像が自動的に調整され、「マイメモリー」(大) メニュー (42 次ページ) が調整内容を表示します。メニューは MENU ボタンを押すか数秒間操作しないと消えます。 お知らせ ▶ 「CUSTOM-1」などのメモリーの名前は変更することができます。(57 ページ) ダイアログの表示もこれに応じて変わりますが、名前の前に表示される番号は変わりません。 ▶ RGB 信号を入力中に RGB 以外の信号で調整、登録した調整データを呼び出したり、RGB 以外の信号を入力中に RGB 信号で調整、登録した調整データを呼び出したりすると、正しく調整されないことがあります。(4)

(次ページにつづく)

お好み調整
(詳細メニュー編)

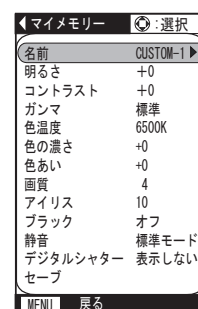
映像メニュー

(「映像メニュー」 つづき)

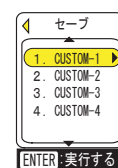
項目	操作方法
(マイメモリー つづき)	(\) 調整データを保存するには (1) 登録用の「マイメモリー」(大) メニューを表示します。 現状のデータをそのまま、または現状のデータを下地に調整して保存する場合： 「マイメモリー」(小) メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使って「セーブ」を選び、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。 登録済みの別のデータを下地に調整して保存する場合： 「マイメモリー」(小) メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使って下地にするデータのメモリーを選び、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。 (2) 「マイメモリー」(大) メニューで、調整内容を確認します。 変更したい項目がある場合： 「マイメモリー」(大) メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使って変更する項目を選び、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。 各項目の調整用メニューまたはダイアログが表示されます。調整方法は各項目の説明をご参照ください。「名前」については次ページをご覧ください。 調整後はカーソルボタン ◀ を押して、「マイメモリー」(大) メニューに戻ってください。 (3) 「マイメモリー」(大) メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使って「セーブ」を選び、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。 「セーブ」がメニューが表示されます。 (4) 登録するメモリーを選びます。 「セーブ」メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使って 1 ～ 4 のメモリーを選び、ENTER ボタンを押してください。 登録が完了すると、再び「マイメモリー」(大) メニューが表示されます。メニューは MENU ボタンを押すか数秒間操作しないと消えます。 (\)



「マイメモリー」メニュー (小)



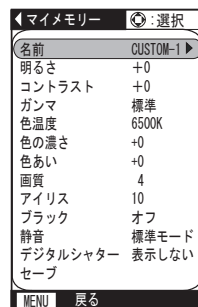
「マイメモリー」メニュー (大)



(次ページにつづく)

(「映像メニュー」つづき)

項目	操作方法
(マイメモリー つづき)	(\) メモリーの「名前」を変更するには (1) 「マイメモリー」(大)メニューでカーソルボタン▲/▼を使って「名前」を選び、カーソルボタン▶またはENTERボタンを押してください。 「名前」ダイアログが表示されます。 (2) 1行目に表示されているのが現状の名前です。名前行のカーソルで操作する文字を示します。最初は名前の1文字目、一番左の文字が選ばれています。 (3) 2行目以下の文字一覧にあるカーソルで文字を選びます。このカーソルはカーソルボタン▲/▼/◀/▶で移動できます。ENTERボタンを押すと、名前行のカーソルが示す文字が、文字一覧のカーソルで選んだ文字に変わり、1行目のカーソルが次の文字に移動します。名前は最大10文字まで入力できます。 ENTERボタンを押した後で文字を変更したい場合は、RESETボタンを押すと、1文字戻ることができます。 (4) 入力が終わったら、文字一覧のカーソルを右下の☑に合わせてENTERボタンを押してください。名前の変更を終了して、「マイメモリー」(大)メニューに戻ります。メニューの「名前」欄を確認してください。



「マイメモリー」
メニュー (大)



お好み調整
(詳細メニュー編)

映像メニュー

表示メニュー

表示メニューでは以下の項目を操作することができます。「詳細メニューの基本操作」(49 ページ) に従って操作項目を選んだ後、下表を参考に操作してください。

メニュー [COMPUTER]			選択
映像	アスペクト	4:3	
表示	オーバースキャン	5	
入力	垂直位置	25	
設定	水平位置	142	
スクリーン	クロック位相	16	
その他	水平サイズ	1344	
簡単メニュー	オートアジャスト		

項目	操作方法
アスペクト 画面の縦と横のサイズの比を選択します。	カーソルボタン ▲/▼ を押すと、アスペクトが切り替わります。 ■ パソコン (RGB) 信号のとき ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9 ↑ ■ HDMI 信号のとき ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ ワイド ↔ 映画 -1 ↔ 映画 -2 ↔ 14:9 ↑ ■ ビデオ (ビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオ) 信号のとき 4:3 ↔ 16:9 ↔ ワイド ↔ 映画 -1 ↔ 映画 -2 ↔ 14:9 ↑ ■ 入力信号が無いとき、本機の仕様に合わない信号のとき 16:9 (固定です。「アスペクト」は選択できません。) 4:3 16:9 ワイド 映画 -1 映画 -2 14:9 16:9 の映像信号を表示するときの例 4:3 の映像信号を表示するときの例 お知らせ ▶ 「ノーマル」では入力信号本来のアスペクトが設定されます。また自動調整 (36, 59 ページ) が実行されたときにも入力信号本来のアスペクトが設定されます。 ▶ 「映画 -1」「映画 -2」はレターボックス信号用です。字幕を表示するときは「映画 -2」をご使用ください。 ▶ アスペクトが適切に設定されていないと映像の端にノイズが現れることがあります。この場合はアスペクトを切り替えてご使用ください。 ▶ アスペクトは、リモコンの ASPECT ボタン (39 ページ) や簡単メニューの「アスペクト」 (45 ページ) でも設定できます。
オーバースキャン 表示率を調節します。	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、表示率を調節できます。ただし、ビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオおよび HDMI 信号でのみ有効です。 大きく (画像は小さくなります) ↔ 小さく (画像は大きくなります) お知らせ ▶ オーバースキャン (表示率) を大きくし過ぎると、画面のふちにノイズが現れることがあります。この場合は小さく調節してご使用ください。 ▶ メニューに表示される調節値は参考値であり、正確な表示率を表すものではありません。
垂直位置	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、画像の縦方向の表示位置を調節できます。ただし、HDMI 端子からの入力信号では無効です。 上へ ↔ 下へ お知らせ ▶ 画面の位置を上下に調節し過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。この場合は垂直位置を調節してご使用ください。

(次ページにつづく)

(「表示メニュー」つづき)

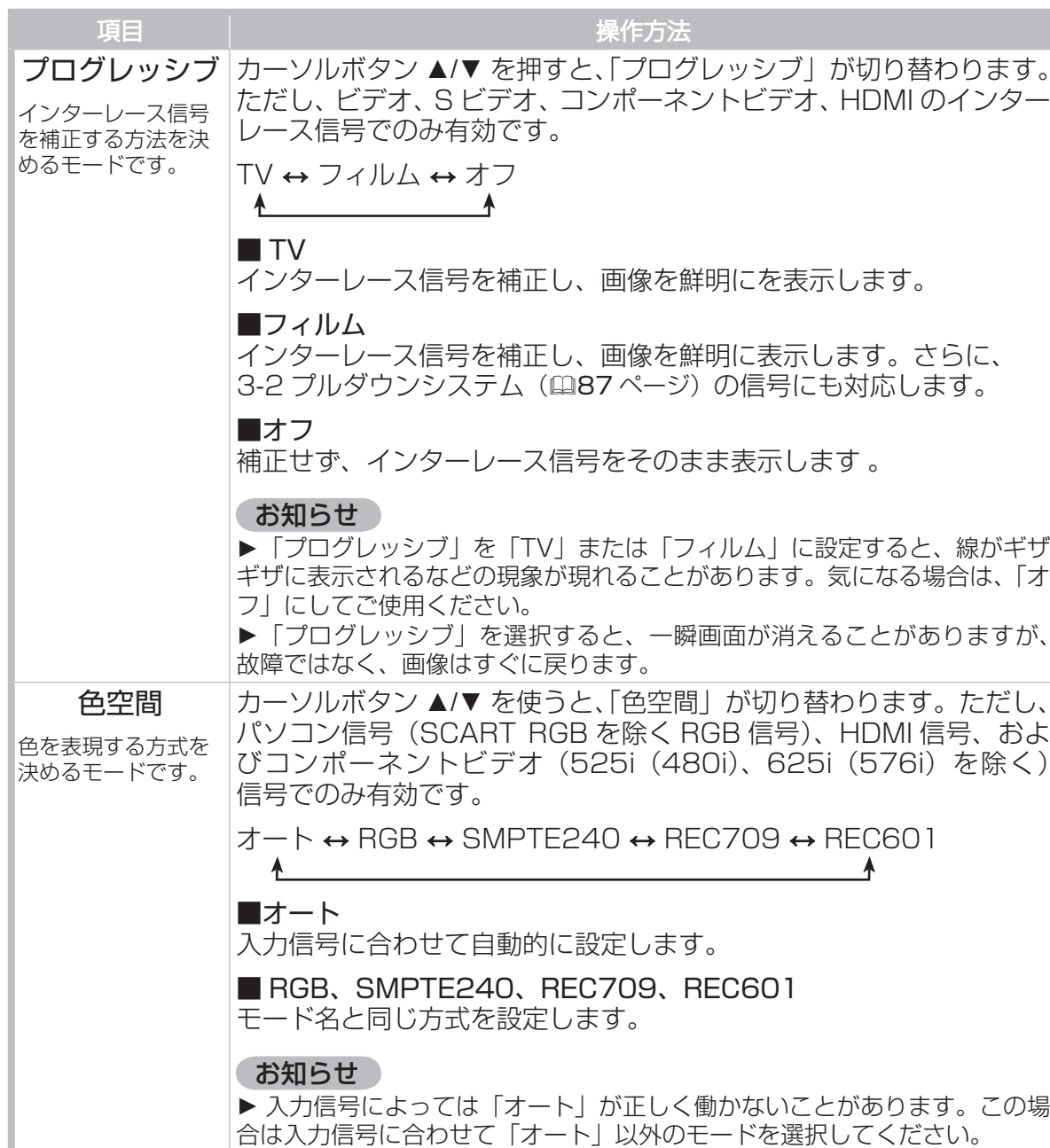
項目	操作方法
水平位置	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、画像の横方向の表示位置を調節できます。ただし、HDMI 端子からの入力信号では無効です。 左へ ↔ 右へ お知らせ ▶ 画面の位置を左右に調節し過ぎると画像のふちにノイズが現れることがあります。この場合は水平位置を調節してご使用ください。
クロック位相	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、クロック位相を調節できます。画像を見ながら、ちらつきの無いところに調節してください。ただし、パソコン信号 (SCART RGB を除く RGB 信号) またはコンポーネントビデオ信号 (525i (480i) と 625i (576i) を除く) でのみ有効です。 右へ ↔ 左へ
水平サイズ	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、画像の横幅を調節できます。ただし、パソコン信号 (SCART RGB を除く RGB 信号) 以外では無効です。 大きく ↔ 小さく お知らせ ▶ 水平サイズ (画像の横幅) を大きくし過ぎたり小さくしすぎたりすると正しく表示されないことがあります。この場合は一度初期化してから適度に調節しなおしてください。「水平サイズ」を選択した状態で RESET ボタンを押すと初期化できます。
オート アジャスト実行 自動調整を実行します。	この機能は「表示」メニューで「オートアジャスト実行」を選択し、カーソルボタン ► を押すと同時に実行されます。画面の位置や大きさを自動的に調整できます。調整される内容は以下の通りです。 ■ COMPUTER 端子からの入力信号のとき 調整内容：垂直位置、水平位置、クロック位相、水平サイズ、アスペクト ■ HDMI 端子からの入力信号のとき 調整内容：アスペクト ■ COMPONENT VIDEO 端子からの入力信号のとき 調整内容：垂直位置、水平位置、アスペクト、クロック位相 ただし入力信号が、525i (480i) 信号、625i (576i) 信号、または SCART RGB 信号の場合は、クロック位相は調整されません。 ■ S-VIDEO、VIDEO 端子からの入力信号のとき 調整内容：ビデオフォーマット、垂直位置、水平位置、アスペクト ただし、ビデオフォーマットは「入力メニュー」の「ビデオフォーマット」が「オート」に設定されているときだけ調整されます。(61 ページ) お知らせ ▶ 自動調整の実行には 10 秒程度の時間が掛かることがあります。また入力信号によっては正しく調整できないことがあります。 ▶ 自動調整を実行するときは、アプリケーションのウィンドウ表示を最大にし、明るい映像を表示して実行してください。暗い映像では正しく調整されないことがあります。

(次ページにつづく)

お好み調整
(詳細メニュー編)

表示メニュー

詳細メニューの「入力」では以下の項目を操作することができます。「詳細メニューの基本操作」(📖49ページ)に従って操作項目を選んだ後、下表を参考に操作してください。



60

(「入力メニュー」つづき)

項目	操作方法
COMPONENT COMPONENT VIDEO 端子の機能を決める モードです。	カーソルボタン ▲/▼ を押すと、COMPONENT VIDEO 端子の機能を切り替えることができます。 COMPONENT ↔ SCART RGB ■ COMPONENT COMPONENT VIDEO 端子をコンポネントビデオ信号の入力端子に設定します。 ■ SCART RGB COMPONENT VIDEO 端子を SCART RGB 信号の入力端子に設定します。
ビデオ フォーマット ビデオ、S ビデオ信号 の信号方式を設定する モードです。	カーソルボタン ▲/▼ を押すと、「ビデオフォーマット」が切り替わります。ただし、ビデオ、S ビデオ信号でのみ有効です。 オート ↔ NTSC ↔ PAL ↔ SECAM ↔ NTSC4.43 ↔ M-PAL ↔ N-PAL ↑ ↑ ■ オート 入力信号に合わせて自動的に設定します。 ■ NTSC、PAL、SECAM、NTSC4.43、M-PAL、N-PAL モード名と同じ信号方式を設定します。 お知らせ ▶ コンポネントビデオ信号は「ビデオフォーマット」の設定とは無関係に自動的に識別され、信号に合わせた設定が行われます。 ▶ 「オート」モードによる自動設定には 10 秒程度の時間が掛かることがあります。また入力信号によっては「オート」が正しく働かないことがあります。この場合は入力信号に合わせて「オート」以外のモードを選択してください。
HDMI HDMI 信号の信号レ ベルを設定するモード です。	カーソルボタン ▲/▼ を押すと、「HDMI」が切り替わります。 オート ↔ ノーマル ↔ 拡張 ↑ ↑ ■ オート 入力信号に合わせて自動的に設定します。 ■ ノーマル DVD 等の色差信号（16-235）信号に適した設定です。 ■ 拡張 VGA 信号等の RGB 信号（0-255）信号に適した設定です。 お知らせ ▶ 「HDMI」のモード設定が適切でないと、画像のコントラストが強すぎたり弱すぎたりすることがあります。この場合は「HDMI」を切り替えて、より適当なモードをお選びください。

(次ページにつづく)

お好み調整
(詳細メニュー編)

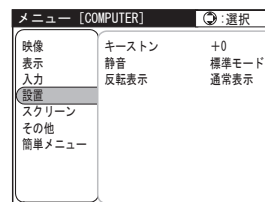
入力メニュー

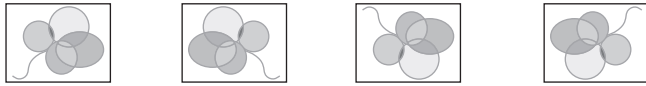
(「入力メニュー」 つづき)

項目	操作方法
フレームロック 動画をよりスムーズに表示するの機能です。	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、「フレームロック」を有効または無効にすることができます。「フレームロック」を有効にすると、垂直周波数 50 ～ 60Hz のパソコン (SCART RGB を除く) 信号と HDMI 信号の動画をスムーズに表示できます。 有効 ↔ 無効 お知らせ ▶ フレームロックを有効にすると、入力信号によっては画像に何らかの不具合を生じることがあります。この場合は無効にしてご使用ください。 ▶ 「フレームロック」の設定にかかわらず、垂直周波数 50 ～ 60Hz の範囲外のパソコン (SCART RGB を除く) 信号と HDMI 信号ではフレームロックは機能しません。またパソコン (SCART RGB を除く) 信号、HDMI 信号以外では常にフレームロックが機能します。
S- アスペクト S2 ビデオ信号のアスペクトを自動設定する機能です。	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、「S- アスペクト」を有効または無効にすることができます。「S- アスペクト」を有効にすると、S2 ビデオ信号を自動的に識別し、適切なアスペクトを自動的に設定できます。 有効 ↔ 無効 お知らせ ▶ リモコンの ASPECT ボタンを押したとき、または詳細メニュー「表示」の「アスペクト」を操作したとき、「S- アスペクト」は自動的に無効になります。
インフォメーション 入力信号についての情報を表示する機能です。	この機能は「入力」メニューで「インフォメーション」を選択し、カーソルボタン ► を押すと同時に実行されます。現状の入力信号についての情報を表示します。ただし、信号が入力されていないときは無効です。 ■ パソコン (RGB) 信号入力の際の表示例 入力インフォメーション コンピュータ 1024 × 768 @85 入力インフォメーション コンピュータ 1024 × 768 @60 フレームロック 入力インフォメーション コンピュータ 1080i @60 ■ HDMI 信号入力の際の表示例 入力インフォメーション HDMI 1920 × 1080i @60 入力インフォメーション HDMI 1920 × 1080i @60 フレームロック ■ ビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオ信号入力の際の表示例 入力インフォメーション VIDEO NTSC オート 入力インフォメーション S-VIDEO PAL オート 入力インフォメーション COMPONENT 1080i @60 ■ SCART RGB 信号入力の際の表示例 入力インフォメーション COMPONENT 576i @50 SCART RGB

設置メニュー

詳細メニューの「設置」では以下の項目を操作することができます。「詳細メニューの基本操作」(49 ページ) に従って操作項目を選んだ後、下表を参考に操作してください。



項目	操作方法
キーストン 画像の垂直方向の台形歪みを地補正します。	カーソルボタン ▲/▼ を押すと、垂直方向の台形歪みを補正できます。 画像の上部を小さく ↔ 画面の下部を小さく  お知らせ ▶ 「キーストン」の調節範囲は入力信号によって異なり、信号によっては正しく調節できないこともあります。 ▶ 簡単メニュー (47 ページ) または詳細メニュー「設置」の「反転表示」(下記) が「上下反転」または「上下左右反転」に設定されていたり、スクリーンが傾いていたたり、プロジェクターが上下逆さに設置されていたりすると、「キーストン」は正しく補正できないことがあります。
静音 本機の騒音を抑える機能です。	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、「静音」機能を有効（静音モード）または無効（標準モード）にすることができます。「静音モード」では本機の騒音と明るさが抑えられます。 標準モード ↔ 静音モード お知らせ ▶ 「静音」を切り替えると画像の明るさが変化しますが、切替操作から明るさの変換までには数分掛かることがあります。 ▶ 本機の電源を入れた直後は、「静音モード」が設定されていても、静音機能が完全に働くまでに数分掛かることがあります。
反転表示	カーソルボタン ▲/▼ を押すと、表示の反転状態が切り替わります。 通常表示 ↔ 左右反転 ↔ 上下反転 ↔ 上下左右反転  お知らせ ▶ 反転表示は、簡単メニューの「反転表示」(47 ページ) でも設定できます。

お好み調整
(詳細メニュー編)

映像メニュー／設置メニュー

スクリーンメニュー

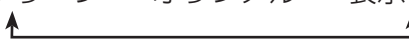
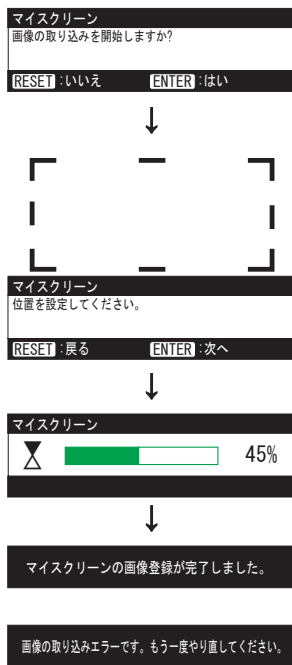
詳細メニューの「スクリーン」では以下の項目を操作することができます。「詳細メニューの基本操作」(49ページ)に従って操作項目を選んだ後、下表を参考に操作してください。

メニュー [COMPUTER]		選択
映像	表示言語	日本語
表示	メニュー位置	
入力	OSDの明るさ	5
設定	初頻画面	オリジナル
スクリーン	マイスクリーン	
その他	マイスクリーンロック	無効
簡単メニュー	メッセージ	表示する
	デジタルシャッター	表示する

項目	操作方法
表示言語	カーソルボタン ▲/▼ を押すと、メニューの表示言語が切り替わります。 ENGLISH ↕ FRANÇAIS ↕ DEUTSCH ↕ ESPAÑOL ↕ ITALIANO ↕ NORSK ↕ NEDERLANDS ↕ PORTUGUÊS ↕ 日本語 简体中文 ↕ 繁體中文 ↕ 한글 ↕ SVENSKA ↕ РУССКИЙ ↕ SUOMI ↕ POLSKI ↕ TÜRKÇE お知らせ ▶ 表示言語は、簡単メニューの「表示言語」(48ページ)でも設定できます。
メニュー位置	カーソルボタン ▲/▼/◀/▶ を使うと、メニューの表示位置が変わります。画面を見ながらお好みの位置を選んでください。 お知らせ ▶ 「メニュー位置」ダイアログでカーソルボタン ◀ を押しても「スクリーン」に戻ることできません。MENU ボタンを押すか、約 50 秒間操作せずに放置すると、ダイアログが消えて操作も終了します。
OSD の明るさ	カーソルボタン ▲/▼ を押すと、OSD (On Screen Display = メニューやダイアログ、メッセージなどの画像の上に現れる表示) の明るさを調節できます。 明るく ↔ 暗く

(次ページにつづく)

(「スクリーンメニュー」 つづき)

項目	操作方法
初期画面 起動時の入力信号が安定するまでの期間や、信号が入力されていないとき、本機の仕様に合わない信号が入力されているときなど、正常な入力信号が検出できないときに表示する画面です。	カーソルボタン ▲/▼ を押すと、「初期画面」の設定が変わります。 マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 表示しない  ■マイスクリーン このモードには「マイスクリーン」機能で、お好みの画像を登録できます。(下記) 工場出荷時点では青色の無地の画面です。 ■オリジナル あらかじめ用意された標準画像です。 ■表示しない 黒色の無地の画面です。 お知らせ ▶ 液晶パネルの焼きつきによる残像を防ぐため、「初期画面」が「マイスクリーン」または「オリジナル」に設定されている場合は、初期画面は数分で黒色の無地の画面に切り替わります。
マイスクリーン	「初期画面」(上記) の「マイスクリーン」モードにお好みの画像を登録します。あらかじめ登録したい画像の映像信号を表示してから、この項目を選んでください。ただし、HDMI 端子からの入力信号は無効です。「スクリーン」メニューで「マイスクリーン」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと、「マイスクリーン」ダイアログが表示されます。 (1) ENTER ボタンを押すとダイアログが変わり、登録画像を指定するためのフレームが表示されます。このとき動画は静止します。(静止画として登録されます。) (2) カーソルボタン ▲/▼/◀/▶ を使うとフレームを移動できます。登録したい画像の位置に合わせ、ENTER ボタンを押してください。 ただし入力信号によってはフレームを移動できない場合があります。 (3) ダイアログが変わり、登録が始まります。登録には数分掛かりますのでお待ちください。 (4) 登録が完了すると、右のようなメッセージが数秒間表示されます。 登録が失敗すると、右のようなメッセージが数秒間表示されます。 お知らせ ▶ 「マイスクリーン」による登録画像は、初期画面として表示されるときには拡大されるため、画像が劣化します。 ▶ 「マイスクリーン」の登録操作中は、キーストン(台形歪み補正)の設定は一時的に解除されます。 

お好み調整
(詳細メニュー編)

スクリーンメニュー

(次ページにつづく)

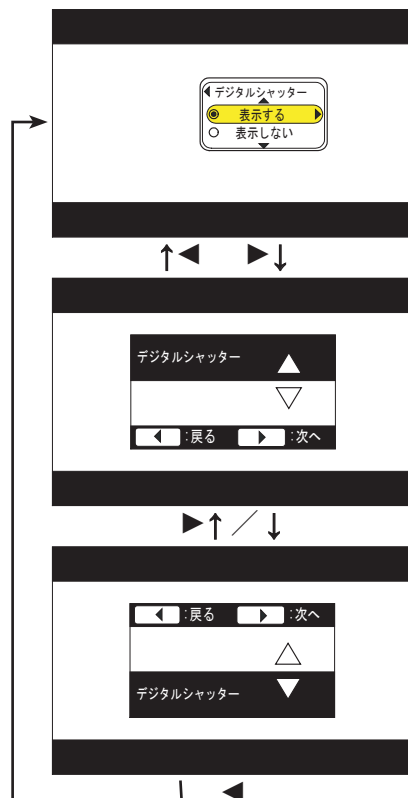
(「スクリーンメニュー」 つづき)

項目	操作方法
マイスクリーン ロック 登録したマイスク リーンを保護するた めの機能です。	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、「マイスクリーンロック」を有効または無効にすることができます。 「マイスクリーンロック」を有効にすると、「マイスクリーン」機能による登録が禁止され、現状のマイスクリーンを保護することができます。 有効 ↔ 無効
メッセージ	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、「メッセージ」を有効または無効にすることができます。 表示する ↔ 表示しない 「メッセージ」を「表示する」にすると、以下のダイアログやメッセージ表示され、「表示しない」にすると表示されなくなります。 ■ リモコンの BRIGHT ボタン、CONTRAST ボタン、COLOR ボタンを押すと表示される「明るさ」「コントラスト」「色の濃さ」の調節ダイアログ ■ リモコンの BLACK ボタンを押して「ブラック」を切り替えると表示されるモード表示 ■ リモコンの MODE ボタンを押して「モード」を切り替えると表示されるモード表示 ■ リモコンの AUTO ボタンを押したときや、「オートアジャスト実行」で自動調整を実行すると表示される「AUTO 実行中」のメッセージ ■ リモコンの MEMORY ボタンを押したとき表示される調整状態表示 ■ 入力信号が検出できないときに表示される「信号が入力されていません」のメッセージ ■ 本機の仕様に合わない信号が入力されたとき表示する「同期範囲外です」のメッセージ ■ 入力信号の検出中に表示される「検出中・・・」のメッセージ ■ 入力信号が変わったときに表示される信号についての表示 ■ アスペクトが変わったときに表示されるアスペクト表示

(次ページにつづく)

(「スクリーンメニュー」 つづき)

項目	操作方法
デジタルシャッター	カーソルボタン ▲/▼ を使うと、「デジタルシャッター」を有効または無効にすることができます。 表示する ↔ 表示しない 「デジタルシャッター」を「表示する」にすると、画面の上下にシャッター（黒い帯）が表示され、画像の上端と下端をマスクします。シャッターの幅は以下の手順で調節することができます。 (1) 「デジタルシャッター」メニューで「表示する」を選び、カーソルボタン ► を押すと、上側のシャッターの調節ダイアログが表示されます。 カーソルボタン ▲/▼ を使うと上側のシャッターの幅を調節することができます。 (2) 上側のシャッターの調節ダイアログでカーソルボタン ► を押すと、下側のシャッターの調節ダイアログが表示されます。 カーソルボタン ▲/▼ を使うと下側のシャッターの幅を調節することができます。 お知らせ ► 上側のシャッターと下側のシャッターの幅は、合計値に制限があります。



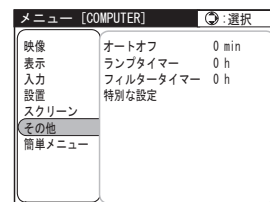
お好み調整
(詳細メニュー編)

スクリーンメニュー

(次ページにつづく)

その他メニュー

詳細メニューの「その他」では以下の項目を操作することができます。「詳細メニューの基本操作」(49 ページ)に従って操作項目を選んだ後、下表を参考に操作してください。



項目	操作方法
オートオフ 使用しない状態が一定時間続いたときに、自動的に、電源スイッチを切る準備動作をさせる機能です。	正常な信号入力が無い状態で一定時間を経過したとき、操作パネルの STANDBY/ON ボタンやリモコンの POWER ボタンを押さずに、自動的に電源オフ（電源スイッチを切るための準備動作）を実行させることができます。 「オートオフ」メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使うと、電源オフ開始までの時間を 0 ～ 99 分の間で調節できます。0 分に設定すると電源オフは実行されません。 長く（最大 99 分）↔ 短く（最小 0 分で無効） オートオフ 有効 10 min オートオフ 無効 0 min 電源オフの動作については「電源を切る」(38 ページ)をご参照になり、電源スイッチは POWER インジケータランプが橙色に点灯（点滅しない）しているのを確認してから切ってください。
ランプタイマー	「ランプタイマー」メニューでカーソルボタン ▲ を押すと、ランプタイマーが初期化されます。ランプタイマーの初期化はランプを交換(71 ページ)したときにだけ行ってください。 初期化する ← 初期化しない
フィルタータイマー	「フィルタータイマー」メニューでカーソルボタン ▲ を押すと、フィルタータイマーが初期化されます。フィルタータイマーの初期化はエアーフィルターを掃除または交換(74 ページ)したときにだけ行ってください。 初期化する ← 初期化しない

(次ページにつづく)

お守りください

ランプタイマーについて

詳細メニュー「その他」で「ランプタイマー」の右に表示される値はランプの使用時間です。初期、または前回ランプタイマーを初期化した時から現在までのランプの点灯時間を 1 時間単位で表示します。ランプタイマーの初期化はランプの交換に合わせて行ってください。正しく行わないと、実施のランプの使用時間とランプタイマーの値が一致しません。

▶ ランプを交換したら必ずランプタイマーを初期化してください。ランプを交換せずにランプタイマーを初期化しないでください。

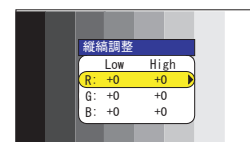
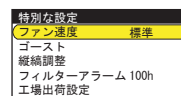
フィルタータイマーについて

詳細メニュー「その他」で「フィルタータイマー」の右に表示される値はエアーフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルタータイマーを初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。フィルタータイマーの初期化はエアーフィルターの掃除または交換に合わせて行ってください。正しく行わないと、実施のエアーフィルターの使用時間とフィルタータイマーの値が一致せず、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするフィルター掃除通知(70 ページ)も正しく表示されません。

▶ エアーフィルターを掃除または交換したら必ずフィルタータイマーを初期化してください。エアーフィルターを掃除も交換もせずにフィルタータイマーを初期化しないでください。

(「その他メニュー」 つづき)

項目	操作方法
特別な設定	「特別な設定」メニューでは以下の機能进行操作することができます。 カーソルボタン ▲/▼ を使って項目を選び、カーソルボタン ► を押してください。選んだ項目のメニューやダイアログが表示されます。 ファン速度 ↔ ゴースト ↔ 縦縞調整 ↔ フィルター掃除通知 ↔ 工場出荷設定
ファン速度	「ファン速度」メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使うと、冷却ファンの回転速度を切り替えることができます。高地でご使用になる場合に「高速」を設定してご使用になることをお勧めします。 高速 ↔ 標準 お知らせ ▶ 「ファン速度」に「高速」を設定してご使用になると、ファンによる騒音が「標準」を設定した場合より大きくなります。 ▶ 「ファン速度」に「高速」を設定してご使用になると、ランプの寿命を縮めたり、その他の部品に悪い影響を及ぼすことがあります。高地以外では「標準」に設定してご使用になることをお勧めします。
ゴースト	ゴーストは、画像の色がずれる現象です。以下の手順で各色ごとに補正してください。 (1) 「ゴースト」メニューでカーソルボタン ◀/▶ を使って色を選んでください。 R (赤) ↔ G (緑) ↔ B (青) (2) 画像を見ながらカーソルボタン ▲/▼ を使って調節してください。
縦縞調整	入力信号によっては画面上に縦縞が見えることがあります。これは故障や誤動作ではなく、液晶パネルの特性によるもので、完全に修正することは困難ですが、以下の手順で改善することができます。各色ごとに調節を行ってください。 (1) 「縦縞調整」メニューでカーソルボタン ▲/▼ を使って色を選び、カーソルボタン ► を押してください。選んだ色の調節ダイアログが表示されます。 R (赤) ↔ G (緑) ↔ B (青) (2) 画像を見ながらカーソルボタン ◀/▶ を使って左側（暗い方）か右側（明るい方）かを選んでください。縦縞の強く出ている側を先に調節することをお勧めします。 L (暗い方) ↔ H (明るい方) (3) 画像を見ながらカーソルボタン ▲/▼ を使って調節してください。 お知らせ ▶ 「縦縞調整」操作中は、キーストン（台形歪み補正）の設定は適用されません。



(詳細メニュー編)

お好み調整
その他メニュー

(次ページにつづく)

（「その他メニュー」 つづき）

項目	操作方法
（特別な設定 つづき）	
フィルター 掃除通知	フィルタータイマー（ 68 ページ）の値が一定に達したとき、エアーフィルターの掃除時期がきたことをお知らせするメッセージを自動的に表示させることができます。 「フィルター掃除通知」メニューでカーソルボタン ▲ / ▼ を使うと、メッセージを表示するまでの時間を設定することができます。 50h ↔ 100h ↔ 200h ↔ 300h ↔ 無効 「無効」に設定してご使用になるとエアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージは表示されません。「フィルター掃除通知」メニューで「無効」を選ぶと右のような確認メッセージが表示されます。 「無効」に設定する場合は ENTER を押してください。別の設定を選ぶ場合は、RESET ボタンを押すと「フィルター掃除通知」メニューに戻ることができます。 ご注意 前回のエアーフィルターの掃除から、100 時間以上経過しました。 エアーフィルターの掃除をお願いします。 エアーフィルター掃除後、 フィルタータイマーをリセットしてください。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。  フィルター掃除通知 エアーフィルター掃除通知を 定期時間毎に表示しない設定となります。 よろしいでしょうか？ エアーフィルターを定期的に掃除しないと、 製品寿命を縮める原因となります。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。 [RESET] いいえ [ENTER] はい
工場出荷 設定	カーソルボタン ▲ を押して「初期化する」を選ぶと、本機の設定が全て工場出荷時点の状態に初期化されます。ただし、「言語表示」「マイスクリーンロック」「ランプタイマー」「フィルタータイマー」は初期化されません。 初期化する ← 初期化しない お知らせ ▶ 「マイスクリーンロック」が「有効」のときは「マイスクリーン」の登録画像は初期化されませんが、「無効」に設定されていると初期化されます。（登録画像が消去されて、青色の無地画面になります。）

点検とお手入れ

ランプを交換する

ランプについてのご注意

⚠警告	⚠感電注意	⚠高温注意	⚠破裂注意
● 本機に使用のランプは、ガラス製で内部圧力の高い水銀ランプです。 このランプは、衝撃や傷、高温状態での取扱い、使用時間の経過による劣化などで大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命が尽きたりする特性があります。寿命にはランプによって大きな差があり、使用後まもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。また、ランプが破裂すると、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスがプロジェクターの通風口から出たりすることがあります。ご使用のまえに、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。 ● 使用済みランプの廃棄について 本機は水銀ランプを使用しています。廃棄は、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従って正しく行ってください。			
 電源プラグをコンセントから抜くこと	● 万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、プロジェクターの電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店にランプ交換をご依頼ください。飛び散ったガラス片によって、けがやプロジェクターの内部を傷つける原因となることがありますので、お客様によるプロジェクター内部の清掃やランプ交換はおやめください。 ● 万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、換気を十分にしておき、プロジェクターの通風口から排出されるガスを吸い込んだり、目や口に入ったりしないようご注意ください。 ● ランプを交換するまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、45 分以上待ってランプを十分冷ましてください。高温状態での取扱いは火傷や破裂の原因となります。		
	● 天吊りや高所への設置状態ではプロジェクターのランプカバーを開けないでください。万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所での作業は危険ですので、ランプが破裂していない場合でも、ランプ交換は必ず販売店にご依頼ください。 ● ランプカバーを外した状態ではプロジェクターをご使用にならないでください。ランプ交換の後は、ネジなどがしっかりと止められ、ランプカバーがきちんと閉じられていることを確認してください。ネジがゆるんでいたりランプカバーが外れたりすると、けがや故障の原因となることがあります。		
	● ランプは指定のもの（ 72 ページ）をご使用ください。ランプを交換するときは、本書に指定の交換用ランプと型名が一致することを予めご確認ください。 ● ランプは長時間ご使用になったり、交換時期を超えてご使用になると、破裂する可能性が高くなります。メッセージなど、ランプ交換時期のお知らせが表示された場合（ 78）はお早めにランプ交換を行ってください。古いランプ（ご使用済み）の再利用はランプの破裂の原因となりますのでおやめください。 ● ランプがご使用開始後短時間で破裂した場合は、ランプ以外の電氣的障害をとまなっている場合があります。このような場合は販売店にご相談ください。 ● ランプに衝撃を加えたり傷つけたりしますと、使用中に破裂する場合がありますので、ていねいに取り扱ってください。 ● ランプを交換したときはランプタイマーのリセットを行ってください。交換しないときはランプタイマーをリセットしないでください。ランプタイマーのリセットを正しく行わないと、メッセージなどの機能が正しく働きません。 ● ランプ交換の際は、エアーフィルターも交換してください。（ 74）本機用の交換ランプに付属されている エアーフィルターは本機にご使用になれます。		

点検と
お手入れ

ランプを交換する

ランプの交換方法

ランプは寿命部品です。使用時間の経過にともない、徐々に映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりします。また、ランプの寿命は個体差や使用条件によって大きなばらつきがあり、ご使用開始から比較的短期間で破裂したり、不点灯となる場合もあります。

あらかじめ交換用のランプをご用意いただき、お早めに交換いただくことをお勧めします。

交換用のランプは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

交換用ランプ型名：PJ-TX200J 001 (DT00665)

また、本機の交換用ランプをご購入になると、本機用のエアーフィルターが付属されています。ランプを交換するときはエアーフィルターも交換してください。

1 電源を切って電源プラグを抜き、45 分以上放置する

- プロジェクターが高温の状態でお手入れを行うと、やけどや故障の原因となりますので、本機が十分冷めるまでお待ちください。

2 新しいランプを用意する

- 必ず指定の型式（上記）の、新品をご使用ください。

ランプが破裂したときや破裂したおそれのある場合、また天吊り設置など高所に設置されている場合は、ランプカバーを開けず、以降の作業を販売店にご依頼ください。

お客様による交換作業は危険ですのでおやめください。

<ご自分で交換する場合>

3 プロジェクターの底面を上に向けて置く

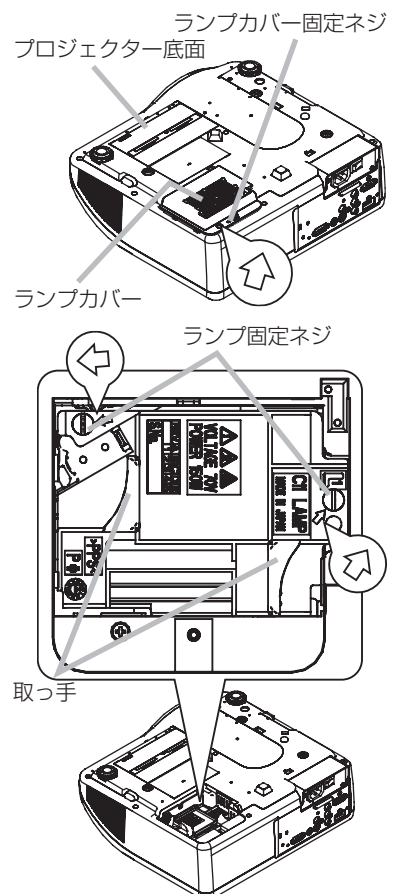
- 本機が十分冷めたことを確認し、本機を傷つけないようにご注意のうえ、底面を上に向けて置いてください。本機を落としたり、倒したり、ぶつけたりしないように、丁寧に取り扱ってください。

4 ランプカバーを開ける

- (1) 図を参考に、ランプカバーのネジ（☆）をゆるめてください。
- (2) ランプカバーを背面方向に少しすべらせ、持ち上げて外します。

5 ランプを取り出す

- (1) 図を参考に、ランプの固定ネジ 2 本（ㄐ/☆）をゆるめてください。
- (2) ランプの取っ手を持ち、静かに持ち上げて取り出してください。ランプを落としたりぶつけたりしないように、丁寧に取り扱ってください。



6. 新しいランプを入れる

- (1) ランプの取っ手を持ち、もとの位置へ静かに入れてください。ランプを落としたりぶつけたりしないように、丁寧に取扱いってください。
- (2) ランプの固定ネジ 2 本 (ㇿ/ㇾ) を締めます。しっかりと締めて確実に固定してください。

7. ランプカバーを閉める

- ランプカバーをもとの位置に戻し、ランプカバーの固定ネジ 1 本 (ㇾ) を締めます。しっかりと締めて確実に固定してください。

8. プロジェクターをもとのように置く

- 本機をきちんと持って、もとのように設置してください。

9. ランプタイマーをリセットする

- 「その他」メニューの「ランプタイマー」を使って初期化します。
 - (1) プロジェクターの電源を入れてください。(📖34 ページ) をご参照ください。
 - (2) リモコンの MENU ボタンを押してください。簡単メニューまたは詳細メニュー (タイトルは「メニュー」と表示されます) が表示されます。簡単メニューの場合は、カーソルボタン ▲/▼ で「詳細メニューへ ...」を選び、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。詳細メニューが表示されます。
 - (3) 詳細メニューの左欄で「その他」を選び、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。メニューカーソル (黄色いハイライトバー) が右欄に移動します。
「その他」以外の選択でメニューカーソルが右欄にある場合は、カーソルボタン ◀ を押すとメニューカーソルが左欄に戻ります。
 - (4) 「その他」メニュー (右欄) でカーソルボタン ▲/▼ を操作し「ランプタイマー」を選んでください。カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押すと、「ランプタイマー」メニューが表示されます。
 - (5) カーソルボタン ▲ を押して「初期化する」を選択してください。ランプタイマーが初期化されます。

点検と
お手入れ

ランプを交換する

お守りください

ランプタイマーについて

ランプタイマーはランプの使用時間です。初期、または前回ランプタイマーを初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。ランプタイマーの初期化はランプの交換に合わせて行ってください。正しく行わないと、実際のランプの使用時間とランプタイマーの値が一致しません。

▶ ランプを交換したら必ずランプタイマーを初期化してください。ランプを交換せずにランプタイマーを初期化しないでください。

エアーフィルターを掃除／交換する

エアーフィルターやフィルターカバーがほこりや汚れなどで詰ったり、損傷していたりすると、内部温度が上がり過ぎて本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。100 時間のご使用を目安に、定期的にお手入れしてください。

「エアーフィルターの掃除をお願いします」などのメッセージ表示が現れたときや、TEMP インジケータが赤く点灯したり点滅して、エアーフィルターのご確認を求めている場合（ 79, 80 ページ）は、できるだけ早くお手入れしてください。

ご注意
前回のエアーフィルターの掃除から、
100 時間以上経過しました。
エアーフィルターの掃除をお願いします。
エアーフィルター掃除後、
フィルタータイマーをリセットしてください。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。

エアーフィルターが損傷したり、汚れがひどくて掃除しきれない場合は交換が必要です。下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

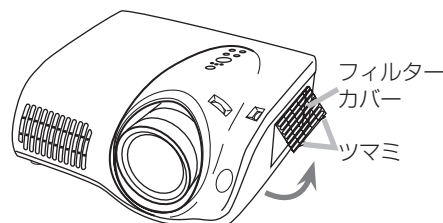
交換用エアーフィルター型名：PJ-TX200J 002 (NJ22632)

また、本機の交換用ランプをご購入になると、本機用のエアーフィルターが付属されています。ランプを交換するときはエアーフィルターも交換してください。

1. 電源を切って電源プラグを抜く

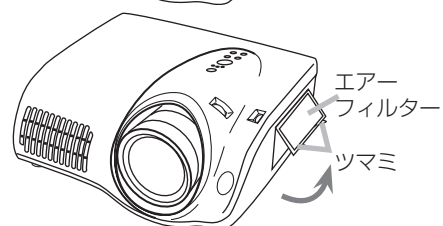
2. フィルターカバーとエアーフィルターを外す

フィルターカバーとエアーフィルターは、ツマミを持って持ち上げるようにして、外してください。



3. 掃除機で掃除する

フィルターカバーとエアーフィルター、およびプロジェクターのエアーフィルター取付け部分（吸気口）周辺のほこりや汚れを掃除機で吸い取って掃除してください。



4. エアーフィルターとフィルターカバーを取り付ける

エアーフィルターとフィルターカバーを、もとのようにプロジェクターに取り付けてください。

5. フィルタータイマーを初期化する

「その他」メニューの「フィルタータイマー」を使って初期化します。

(1) プロジェクターの電源を入れてください。（ 34 ページ）をご参照ください。

(2) リモコンの MENU ボタンを押してください。簡単メニューまたは詳細メニュー（タイトルは「メニュー」と表示されます）が表示されます。

簡単メニューの場合は、カーソルボタン ▲/▼ で「詳細メニューへ ...」を選び、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。詳細メニューが表示されます。

- (3) 詳細メニューの左欄で「その他」を選び、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。メニューカーソル（黄色いハイライトバー）が右欄に移動します。
「その他」以外の選択でメニューカーソルが右欄にある場合は、カーソルボタン ◀ を押すとメニューカーソルが左欄に戻ります。
- (4) 「その他」メニュー（右欄）でカーソルボタン ▲/▼ を操作し「フィルタータイマー」を選んでください。カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押すと、「フィルタータイマー」メニューが表示されます。
- (5) カーソルボタン ▲ を押して「初期化する」を選択してください。フィルタータイマーが初期化されます。

⚠ 警告

お手入れするときは電源プラグを抜く

電源を接続したままでお手入れは感電の原因となります。お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意

エアーフィルターを定期的にお手入れする

エアーフィルターがほこりなどで詰まると、内部温度が上がり過ぎて、メッセージやインジケータランプが異常をお知らせしたり、本機の電源が自動的に切れたり、故障の原因となることがあります。

- ▶ エアーフィルターは定期的にお手入れしてください。
- ▶ 交換するときは必ず指定のエアーフィルターをご使用ください。
- ▶ エアーフィルターやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。

お守りください

エアーフィルターが損傷したときや汚れがひどいとき、ランプを交換したときはエアーフィルターを交換してください

エアーフィルターが損傷したり、汚れがひどくて掃除しきれない場合は交換が必要です。また本機の交換用ランプをご購入になると、本機用のエアーフィルターが付属されています。ランプを交換したときにもエアーフィルターを交換してください。

フィルタータイマーについて

フィルタータイマーはエアーフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルタータイマーを初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。フィルタータイマーの初期化はエアーフィルターの掃除または交換に合わせて行ってください。正しく行わないと、実際のエアーフィルターの使用時間とフィルタータイマーの値が一致せず、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするフィルター掃除通知（70, 78 ページ）も正しく表示されません。

- ▶ エアーフィルターを掃除または交換したら必ずフィルタータイマーを初期化してください。エアーフィルターを掃除も交換もせずにフィルタータイマーを初期化しないでください。

点検と
お手入れ

エアーフィルターを掃除／交換する

内部を点検、お手入れする

内部にほこりがたまった状態で使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。

安全のため、1年に1度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。費用などについては販売店にご相談ください。

- 湿気の多くなる梅雨期の前にお手入れすると効果的です。
- お客様による内部の点検や掃除は危険ですので絶対におやめください。

レンズのお手入れ

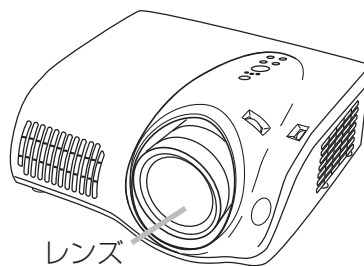
レンズが傷ついていたたり、汚れていたたりすると画質に悪い影響を及ぼすことがあります。

以下に従って正しくお手入れしてください。

1. 電源を切って電源プラグを抜く

2. クリーニングペーパーでレンズを拭く

市販のレンズクリーニングペーパー（カメラや眼鏡の清掃用）をご使用ください。直接手で触れたり、硬いものでこすったりしないでください。



キャビネットやリモコンのお手入れ

誤った取扱いは、キャビネットやリモコンが傷ついたり変質したり塗装がはげたりする原因となります。

以下に従って正しくお手入れしてください。

1. 電源を切って電源プラグを抜き、しばらく放置して冷ます

- プロジェクターが冷めたことを確認してください。

2. やわらかい布でを拭く

ガーゼなどの軟らかい布で軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、

(1) 水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞った軟らかい布で、軽く拭いてください。強くこすらないでください。

(2) 乾いた軟らかい布で、軽く 吹いて仕上げてください。

警告

高温に注意する

高温のままお手入れすると、やけどや故障の原因となります。お手入れは本機が十分冷めた状態で行ってください。

お手入れするときは電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れは感電の原因となります。お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

内部のお手入れや掃除は販売店に依頼する

火災や感電の原因となります。お客様による内部のお手入れは絶対におやめください。

ランプ点灯中はレンズをのぞかない

強い光が出ています。視力障害の原因となりますのでのぞかないでください。

水や洗剤を入れない

火災や感電の原因となります。水や洗剤が内部に入らないように十分ご注意ください。

▶ スプレーを使用しないでください。

▶ 洗剤やバケツ、ぬれた布やスポンジを本機の上や近くに置かないでください。

お守りください

レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、画質に悪い影響を及ぼすことがあります。

▶ レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。

お手入れは正しい方法で行ってください

▶ 指定されたもの以外は使用しないでください。指定外の洗剤や薬品は本機を傷める原因となることがあります。

点検と
お手入れ

内部を点検、
お手入れする

／
レンズの
／
お手入れ
／
リモコンの
／
キャビネットや
お手入れ

故障かな、と思ったら

メッセージについて

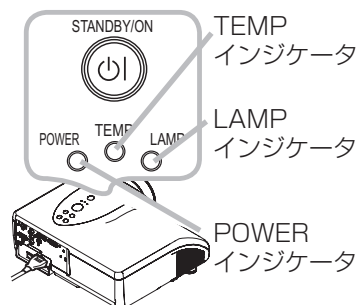
プロジェクターの電源を入れたとき、下表のようなメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示されたら、下表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

メッセージ	内容
*** に信号が入力されていません。	入力信号がみつかりません。 ・ 信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ ・ 接続した機器（パソコンやビデオなど）は正しく動作していますか？
*** の信号は同期範囲外です。	入力されている信号が本機の対応範囲外と認識されました。 ・ 入力している信号は、本機の仕様に合っていますか？ ・ 「パソコン信号例」（ P.29 ページ）をご参照ください。 ・ 接続した機器（パソコンやビデオなど）は正しく動作していますか？
吸気口をチェックして下さい。	内部温度が上昇しています。 すぐに電源を切り、20 分以上冷ましてから、以下のことを確認してください。 ・ 周囲の温度が 35℃を超えていませんか？ ・ 通風口はふさがっていませんか？ ・ エアーフィルターは汚れていませんか？（ P.74 ページ） 修正しても同じメッセージが表示される場合は、「その他」メニュー「特別な設定」の「ファン速度」で「高速」を設定してみてください。（ P.69 ページ）
ご注意 前回のエアフィルターの掃除から、 *** 時間以上経過しました。 エアフィルターの掃除をお願いします。 エアフィルター掃除後、 フィルタータイマーをリセットしてください。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。	エアフィルターの掃除時期です。 できるだけ早く、エアフィルターを掃除または交換してください。 エアフィルターは「エアフィルターを掃除 / 交換する」（ P.74 ページ）に従って掃除してください。

インジケータについて

プロジェクターの操作パネルにあるインジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。下表に従い、必要に応じて処置を行ってください。

処置後も同じインジケータ表示が繰り返されたり、下表にないインジケータ動作が見られた場合は、販売店にご相談ください。



POWER インジケータ	LAMP インジケータ	TEMP インジケータ	内容
緑色点滅	消灯	消灯	ウォームアップ中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
緑色点灯	消灯	消灯	通常の動作状態です。
橙色点滅	消灯	消灯	冷却中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
橙色点灯	消灯	消灯	スタンバイ状態です。 電源スイッチを切れる状態です。「電源を切る」(P.38 ページ) をご参照ください。
赤色点灯 または 赤色点滅	赤色点灯	消灯	なんらかの理由でランプが点灯しないか、内部温度が上がり過ぎている可能性があります。 POWER インジケータが点滅しているときは冷却中です。点滅が止まるまでお待ちください。 POWER インジケータの点滅が止まったら、電源を切り、20 分以上冷ましてから、以下のことを確認してください。 ・周囲の温度が 35℃を超えていませんか？ ・通風口はふさがっていませんか？ ・エアフィルターは汚れていませんか？ (P.74 ページ) ・ランプは正しく取り付けられていますか？ (P.72 ページ)
	消灯	赤色点滅	冷却ファンが動作しません。 POWER インジケータが点滅しているときは冷却中です。点滅が止まるまでお待ちください。 POWER インジケータの点滅が止まったら、電源を切り、20 分以上冷ましてから、再度確認してください。 ・近くに磁気を発生するものがありますか？
	消灯	赤色点灯	内部温度が上がり過ぎている可能性があります。 POWER インジケータが点滅しているときは冷却中です。点滅が止まるまでお待ちください。 POWER インジケータの点滅が止まったら、電源を切り、20 分以上冷ましてから、以下のことを確認してください。 ・周囲の温度が 35℃を超えていませんか？ ・通風口はふさがっていませんか？ ・エアフィルターは汚れていませんか？ (P.74 ページ) 高地でのご使用の場合、修正しても同じインジケータ表示が見られるときは、「その他」メニュー「特別な設定」の「ファン速度」で「高速」を設定してみてください。(P.69 ページ)

(次ページにつづく)

故障かな、
と思ったら

メ
にッ
つセ
いー
てジ
／
イン
ジケ
ータ

（「インジケータランプについて」つづき）

POWER インジケータ	LAMP インジケータ	TEMP インジケータ	内容
緑色点灯	交互に赤色点滅		内部温度が下がり過ぎている可能性があります。 適切な温度環境（5℃～35℃）でご使用ください。周囲の 温度を調節し、電源を入れなおしてください。
緑色点灯	同時に赤色点滅		「フィルター掃除通知」（  70 ページ）の設定時間を 過ぎました。 すぐに電源を切って、エアーフィルターを掃除または交換 してください。 エアーフィルターは「エアーフィルターを掃除 / 交換する」 （  74 ページ）に従って掃除してください。エアーフィル ターを掃除または交換したら、忘れずにフィルタータイマー を初期化してください。

お知らせ

▶ 内部温度が上がり過ぎると、安全のため、本機は自動的に電源オフ（電源スイッチを切るための準備動作）を実行し、インジケータも消灯します。このような場合は電源スイッチを切り（「○」側を押す）、45 分以上放置して冷ましてください。
本機が十分冷めたのを確認し、エアーフィルターを掃除し（ 74 ページ）、通風口がふさがれていないことを確認して電源を入れなおしてください。

故障と間違えやすい現象について

修理をご依頼になるまえに、次ページの表に従ってご確認ください。
ご確認後も問題が解決できない場合は、次のことをお試しになると解決できる場合があります。

1. 動作が不安定 → 電源を入れ直す。
2. 設定がおかしい → 「その他」メニュー「特別な設定」で「工場出荷設定」を実行すると、工場出荷時の設定に戻すことができます。

現象	内容
電源が入らない	電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認してください。(P30 ページ)
	電源スイッチは入っていますか？ 電源スイッチの「I」側が押されていることを確認してください。(P34 ページ)
	停電などで動作中に電源が切れませんでしたか？ 停電やリスタートスイッチの使用によって、通常の手順をふまずに電源が切れた場合は、電源スイッチを切って（「O」側を押す）、10 分以上放置して冷ましてから、電源を入れなおしてください。
	ランプやランプカバーは正しく取り付けられていますか？ ランプまたはランプカバーの取付け状態を確認してください。(P71 ページ)
電源が切れない	内蔵マイコンの一時的な誤動作の可能性があります。 接続パネルのリスタートスイッチを押すと電源を切ることができます。リスタートスイッチで電源を切った後は必ず電源スイッチを切り（「O」側を押す）、10 分以上放置して冷ましてください。(P38 ページ)
画像が表示されない	レンズカバーは閉じていませんか？ レンズカバーを開けるときはレンズをのぞかないようにご注意ください。レンズからは強い光が出て、のぞくと視覚障害の原因となります。
	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認してください。(P23 ページ)
	正しい入力端子を選んでいませんか？ 接続を確認し、正しい入力端子を選んでください。(P35 ページ)
	接続した機器（パソコンやビデオなど）は正しく動作していますか？ 接続した機器の電源や動作状態を確認してください。
	「明るさ」は正しく設定されていますか？ リモコンの BRIGHT ⊕ ボタンを押して、明るく調節してください。(P42 ページ)

(次ページにつづく)

警告

異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

- 煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、
- 内部に異物や液体（金属や水）が入った、
- 落とした、強い衝撃をあたえた、
- 本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある、

▶ お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

故障かな、
と思ったら

インジケータ
について
故障と間違えやすい
現象について

（「故障と間違えやすい現象」つづき）

現象	内容
画像が表示されない (つづき)	接続したパソコンはプラグ&プレイ・モニターを検出できますか？ 他のプラグ & プレイモニターを接続してご確認ください。(P29 ページ)
	接続したパソコンが HDMI 出力を持っている場合、HDMI のドライバ・ソフトウェアは古くありませんか？ ご使用のパソコンの取扱説明書をご確認ください。古い場合はパソコンの販売店等にご相談のうえ、新しいドライバをインストールしてください。
	接続した機器は HDMI 信号と VGA 信号の両方を同時に出力できますか？ HDMI 信号を入力する場合は VGA 信号の接続を外してください。
	HDMI 信号を入力する場合、接続した機器は出力を切り替えたりオン / オフしたりできますか？ 本機の入力を HDMI 端子に設定してから、機器の出力をオンにしてください。(P27 ページ)
色が薄い、色あいが悪い	色の調整や設定は正しく行われていますか？ 「色の濃さ」(P54 ページ)、「色あい」(P54 ページ)、「色温度」(P53 ページ)、「色空間」(P60 ページ) の設定を見直してください。
画像が暗い	「明るさ」は正しく設定されていますか？ リモコンの BRIGHT ⊕ ボタンを押して、明るく調節してください。(P42 ページ)
	「静音モード」が設定されていませんか？ 「設置」メニュー「静音」で「標準モード」を設定してください。(P63 ページ)
	「アイリス」や「ブラック」は正しく設定されていますか？ リモコンの IRIS ボタンを使って調節してください。(P40 ページ)
	ランプが寿命に近づいている可能性があります。 ランプを交換してください。(P71 ページ)
画像がぼやける、くもって見える	「フォーカス」や「クロック位相」、「画質」は正しく設定されていますか？ フォーカスリングでフォーカスを (P37 ページ)、「表示」メニューの「クロック位相」でクロック位相を (P59 ページ) 調整してください。
	レンズが汚れたり、くもったりしていませんか？ レンズをお手入れしてください。(P76 ページ)
画面がちらつく	「ブラック」を「オート 1」または「オート 2」に設定していませんか？ リモコンの BLACK ボタンを押して、「ブラック」を「オフ」にしてください。(P41 ページ)
	「静音モード」が設定されていませんか？ 「設置」メニュー「静音」で「標準モード」を設定してください。(P63 ページ)
騒音が大きくなった	内部温度が上昇している可能性があります。 周囲温度が上がったときなど、本機は自動的に冷却ファンの回転速度を上げます。周囲温度を調整するか、設置」メニュー「静音」で「静音モード」を設定してください。(P63 ページ)

お知らせ

- ▶ 本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点(光ったままの点)や黒点(光らない点)が見られることがあります。液晶特有の現象であり、故障ではありません。
- ▶ 静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルの仕様 (P85 ページ) と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

保証とアフターサービス

必ず
お読みください

修理を依頼されるときは

(出張修理)

📖59 ~ 📖63 に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書
(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間については保証書をご覧ください。

ご不明な点や
修理に関する
ご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

補修用
性能部品
保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後8年です。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品 名	液晶プロジェクター
本 体 型 名	PJ-TX200 (PJ-TX200J)
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
梱包材の有無	輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。特にレンズ回りの梱包には注意する必要があります。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料

故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

+

部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

+

出張料

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービス依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日

保証と
アフターサービス

長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検



このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- ランプが破裂した。



ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

(「保証とアフターサービスについて」つづき)

ユーザー登録のご案内

日立ではお買い上げいただいた皆様へのサポートの充実を図るために、「ユーザー登録」をお勧めしております。下記方法にてご登録をお願いいたします。

オンラインによる登録方法：

1. 日立ホームページへアクセスする。

日立液晶プロジェクターホームページ
https://www13.hitachi.co.jp/home/info/dmu_touroku.top#DPJ

2. 画面の「ホームシアタープロジェクター PJ-TX200J」をクリックする。
3. 登録内容、簡単なアンケートにお応えください。
4. ユーザー登録完了画面になりましたら「ユーザー登録」完了です。

ユーザー登録におけるお客様の個人情報お取り扱いについて：

ご登録いただいたお客様の個人情報（お名前、ご住所などお客様本人を特定できる情報。以下「個人情報」）は、株式会社日立製作所（以下「弊社」）において下記の要領で利用させていただきます。

1. 個人情報の利用目的
 - 1) 今後の商品開発の参考（本製品に関するご使用実態調査の送付を含む）
 - 2) お客様よりご同意いただいた場合には、弊社において次の利用をさせていただくことがあります。
 - ・商品ならびにサービスに関する情報の提供
 - ・アンケートのお願い
2. 個人情報の保管
弊社は、適切なセキュリティを確保し、個人情報を安全に保管いたします。
3. 個人情報の提供・開示
あらかじめお客様からご了解いただいている場合及び下記の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報の提供・開示を行うことはありません。
 - 1) 上記1. の利用目的のために協力会社に業務委託をする場合
 - 2) 法令の規定に基づいて、司法、行政、またはこれに類する機関からの情報開示の要請を受けた場合
4. 個人情報の紹介など
個人情報の照会、訂正、削除を希望される場合は、下記お問合せ先にご連絡ください。（個人情報を削除された場合、上記1. のサービスを受けられない場合があります。）

個人情報に関するお問合せ先

【会社名】 株式会社日立製作所
【事業部名】 デジタルメディア事業部
【部署名】 プロジェクタ商品・販売企画部 PJ-TX200J ユーザー登録係
【電話】 045-866-6305
【電話受付時間】 9:00-12:00, 13:00-17:00（土、日、祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日を除く）

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL 0120-3121-68

（受付時間）365日/9:00～19:00

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
TEL 0120-3121-11

（受付時間）9:00～17:30/携帯電話、PHSからもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

仕様

項目		仕様
品名		液晶プロジェクター
液晶パネル	パネルサイズ	1.8cm (0.7 型) 16 : 9 パネル
	駆動式	TFT アクティブマトリクス
	画素数	921,600 画素 (水平 1280 × 垂直 720)
レンズ		ズームレンズ F=1.7 ~ 2.4 f=20.0 ~ 31.9mm
ランプ		150W UHB
電源		AC100V (50Hz/60Hz)
消費電力		220W
使用温度範囲		5℃ ~ 35℃
外形寸法		340 (幅) × 113 (高さ) × 299 (奥行き) mm ※突起部含まず。(外形寸法図 (次ページ) ご参照)
質量		4.7kg
端子		RGB 入力端子 : COMPUTER.....D サブ 15 ピンミニシュリンクジャック × 1 デジタル入力端子 : HDMI.....HDMI コネクタ × 1 RS-232C 通信端子 : CONTROLD サブ 9 ピンプラグ × 1 ビデオ入力端子 : VIDEO.....RCA ジャック × 1 S-VIDEO.....ミニ DIN 4 ピンジャック × 1 COMPONENT VIDEORCA ジャック × 3 その他 : TRIGGER12V/25mA 出力端子 × 1
別売品		ランプ : PJ-TX200J 001 (DT00665) エアーフィルター : PJ-TX200J 002 (NJ22632) ※その他の別売品については弊社のホームページ (前ページにアドレスを記載しています。) をご覧になるか、販売店にお尋ねください。

お知らせ

▶ この製品 (付属品を含む) は日本国内でのみご使用になれます。日本国外ではご使用にならないでください。またこの製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。

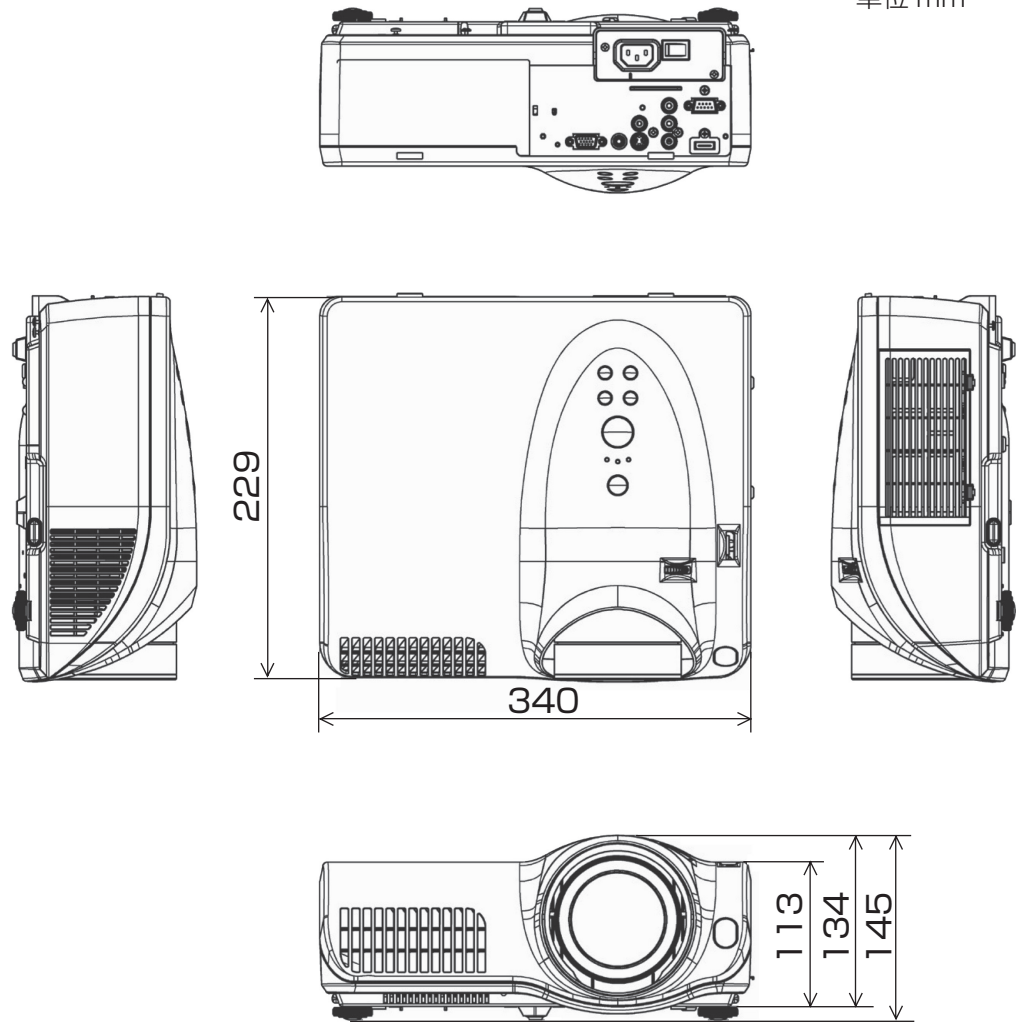
This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

▶ 本書の内容は製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

仕様

外形寸法図

単位 mm



用語解説

用語	解説	記載ページ番号
3-2 ブルダウンシステム	映画などのフィルムソースをビデオ信号に変換する方式の一つ。	60
色空間	色を表す方式のこと。	60
色温度	光の色を表現する基準の一つ。色温度が高いほど青っぽく、色温度が低いほど赤っぽい光となる。	40, 46, 53
ガンマ	本書では「ガンマ特性」のこと。黒レベルから白レベルまでの明暗の具合を表す。8bit で 256 階調、10bit で 1024 階調の表現が可能。	40, 46, 51
ゴースト	本書では画像の色がずれる現象のこと。	69
HDMI	High Definition MultiMedia Interface の略。家電・A/V機器向けのデジタル映像と音声の両方を伝送するインターフェイス規格。	39, 58, 89, 60, 61, 62
インターレース	一回の画面表示を一段おきに走査する方式のこと。次の画面表示で表示しなかった部分の走査を行い、少ない情報量でより広範囲の映像領域を確保するために用いる。一段おきに交互に表示させるため、画面がちらつくことがある。 参考⇒ プログレッシブ	60
アイリス	光の入射量を調整する機構のことで絞りともいう。	40, 46, 54
キーストン	映像を斜めに投射するとスクリーンに台形で表示される。本書では、その台形を長方形に補正する機能のこと。	63
NTSC	National Television System Committee の略。アメリカの地上波アナログカラーテレビ放送の標準化委員会。本書では、同委員会が策定した地上波アナログカラーテレビ放送の方式のこと。水平方向の走査線数が 525 本で毎秒 30 フレーム (1 秒間に 30 回画面を書き換える) のインターレース方式で、水平走査周波数は 15.75MHz、垂直走査周波数は 60Hz である。日本や北米、中南米で採用されている。	61
PAL	Phase Alternating Line の略。地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。水平方向の走査線数が 625 本 (ブラジルでは 525 本) で、毎秒 25 フレーム (1 秒間に 25 回画面を書き換える) のインターレース方式。西欧や中国などで採用されている。	61
プログレッシブ	インターレースに対して、一回の画面表示を一度で全て走査する方式のこと。必要な情報量が多くなるが、画面のちらつきを抑えることができる。 参考⇒ インターレース	60

仕様

用語解説

(「用語解説」つづき)

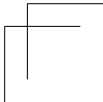
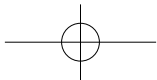
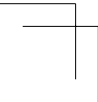
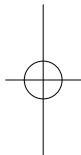
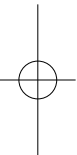
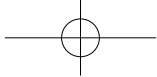
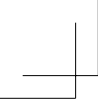
用語	解説	記載ページ番号
RGB (信号)	Red(赤)、Green(緑)、Blue(青)の3原色をもとに画像を表示する出力画像信号方式。アナログRGBとも呼ばれる。 RGB方式の信号線(コネクタ)にはD-sub15ピンとBNCが使われる。	28, 39, 58, 59, 60, 62
S2 ビデオ信号	ワイド映像の識別信号が付加されたS端子の一つ。 EIAJ CPR-1202として規格化されているワイド仕様の表示装置はズーム表示、すなわち画面の上下を削って表示する。4:3仕様ではそのまま表示する。	60, 62,
SCART	SテレビやビデオなどAV機器用のコネクタの一つ。 21ピンの台形コネクタで、RGB信号またはビデオ信号、および2チャンネルの音声信号を接続できる。	26, 59, 60, 61, 62
SECAM	Sequential Couleur A Memoireの略。 地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。 実際には、細かな仕様の違いから約20種類の方式に分かれている。水平方向の走査線数が625本で、毎秒25フレーム(1秒間に25回画面を書き換える)のインターレース方式。東欧などで採用されている。	61

索引

	ページ		ページ
A		R	
ASPECT ボタン	18, 39	RESET ボタン	16, 18
AUTO ボタン	18, 36, 66	RGB (信号)	23, 28, 39, 45, 58, 62
B		RS-232C	23, 28
BLACK ボタン	18, 41, 66	S	
BRIGHT ボタン	18, 42, 66	SCART RGB	61, 62
C		STANDBY/ON ボタン	16, 34, 38
COLOR ボタン	18, 42, 66	S-VIDEO	16, 25
COMPONENT	61	S-VIDEO ボタン	18, 35
COMPONENT VIDEO	16	S-VIDEO 端子	17, 35, 36
COMPONENT VIDEO 端子	17, 35, 36, 61	S-アスペクト	62
COMPO ボタン	18, 35	Sビデオ信号	23, 25, 39, 58, 62
COMPUTER	16, 28	T	
COMPUTER 端子	17, 35, 36	TEMP インジケータ	16, 79, 80
CONTRAST ボタン	18, 42, 66	TRIGGER 端子	17
CONTROL 端子	17, 28	V	
D		VIDEO	16, 25
DVI 信号	23, 27	VIDEO ボタン	18, 35
E		VIDEO 端子	17, 35, 36
ENTER ボタン	16, 18, 44, 49		
H		あ行	
HDMI	16, 27, 61	アイリス	40, 43, 46, 54
HDMI ボタン	18	明るさ	42, 43, 47, 51
HDMI 信号	23, 27, 39, 45, 58, 62	アジャスタボタン	15, 22
HDMI 端子	17, 35, 36	アジャスタ脚	15, 22
I		アスペクト	39, 45, 58, 66
INPUT ボタン	16, 35	色あい	43, 47, 54
IRIS ボタン	18, 40	色の濃さ	42, 43, 47, 54
L		色温度	40, 43, 46, 53
LAMP インジケータ	16, 79, 80	色空間	60
LIGHT ボタン	18, 33	インフォメーション	62
M		エアーフィルター	14, 68, 70, 72, 74, 78
MEMORY ボタン	18, 43, 66	映像メニュー	51
MENU ボタン	16, 18, 44, 49	オートアジャスト	59
MODE ボタン	18, 40, 66	オートオフ	68
O		オーバースキャン	58
OSD の明るさ	64	お手入れ	71
P		か行	
PC ボタン	18, 35	カーソルボタン	16, 18, 44, 49
POWER インジケータ	16, 34, 38, 79, 80	画質	43, 47, 54
POWER ボタン	18, 34, 38	簡単メニュー	44, 49
		ガンマ	40, 43, 46, 51
		キーストン	63
		クロック位相	59
		ゴースト	69
		工場出荷設定	70

(「索引」つづき)

	ページ		ページ
コントラスト	42, 43, 47, 51	表示言語	44, 48, 49, 64
コンポーネントビデオケーブル	13, 26	ファン速度	69
コンポーネントビデオ信号	23, 26, 39, 45, 58, 62	フィルターカバー	14, 74
		フィルタータイマー	68, 74, 78
		フィルター掃除通知	70
さ行		フォーカス	14, 37
初期化	44, 48, 50	フォーカスリング	14, 37
初期画面	65	プラグ & プレイ	24, 29
詳細メニュー	44, 48, 49	ブラック	41, 43, 46, 55
信号ケーブル	23	フレームロック	62
ズーム	14, 37	プログレッシブ	60
ズームリング	14, 37		
垂直レンズシフトダイヤル	14, 37	ま行	
垂直位置	59	マイスクリーン	65
水平サイズ	59	マイスクリーンロック	66
水平レンズシフトダイヤル	14, 37	マイメモリー	54
水平位置	59	メッセージ	43, 66, 78
スクリーンメニュー	43, 44, 49, 64	メニュー位置	64
静音	43, 63	モード	40, 46
接続パネル	17		
設置メニュー	63	ら行	
操作パネル	16	ランプ	15, 68, 71, 72, 74
その他メニュー	68, 73, 74	ランプカバー	15, 71, 72
		ランプタイマー	68, 71, 73
た行		リスタート・スイッチ	17, 38
縦編調整	69	リモコン	13, 18, 32, 33, 76
通風口	15	レンズ	14, 37, 76
天吊り	6, 20	レンズカバー	13, 14, 19, 34, 38
点検	71, 76	レンズクッション	13
電源	34, 38, 81	レンズシフト	37
電源コード	13, 30, 34		
電源スイッチ	17, 34, 38		
電源プラグアダプタ	13, 30		
電源端子	17, 30		
電池	13, 32		
電池カバー	18, 32		
投写距離	20		
盗難防止用ロック取付け穴	17		
特別な設定	69		
な行			
入力メニュー	60		
入力信号	35		
ノートパソコン	29		
は行			
反転表示	47, 63		
ビデオフォーマット	61		
ビデオ信号	23, 25, 39, 45, 58, 62		
表示メニュー	58		





この取扱説明書の印刷には、植物性大豆
インクを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。



QR65571

Printed in Japan